第６章　学部教育（デザイン学部）

第６章　学部教育（デザイン学部）

本学部の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

デザイン学部では、人間・社会・自然の調和を目指したデザイン・建築を創造できる人材教育を目指します。

学部の基礎的な共通教育に加えて、実学教育を中核とした各分野の専門教育により、地域・国際社会の持続的発展に貢献できる人材を少人数教育によって育成します。

卒業要件を満たすことにより、次の能力や態度・意欲を身に付けた者に学位を授与します。

【人間・社会・自然の理解】

人文科学、社会科学、自然科学、健康科学の知識を通して、人間・社会・自然を理解する力を身に付けている。

【倫理観】

デザイン・建築の専門家として求められる倫理性や環境のあり方など社会の規範についての倫理観と豊かな人間性を身に付けている。

【専門的知識・技能】【論理的思考力・判断力・実践力】

デザイン・建築関連分野の幅広い知識及び技能を修得し、これらを科学的、論理的思考に基づいて統合的に活用する判断力、実践能力を身に付けている。

【課題発見・解決力】【主体性と生涯学習意欲】

デザイン・建築における課題を発見し解決する力とともに、新しい知識や価値観を積極的・継続的に学習、吸収する意欲を身に付けている。

【コミュニケーション力】

デザイン・建築分野における表現伝達力、口頭発表力、討議能力、企画提案力、特にデザイン表現や図面・模型などを含めたコミュニケーション能力とデザインに関連した地域の課題、また国際社会における課題を理解する視点を身に付けている。

【多様な人々と協働する力】

地域社会や国際社会においてデザイン・建築分野において他者との関わりの中で目的を遂行するために自己の役割を認識し、自己管理をする力と豊かな人間性をもって多様な人々と協調・協働する姿勢を身に付けている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【基本方針】

デザイン学部では、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、デザイン・建築に関する広範囲な分野の専門的知識・技能を基礎として、新しい時代をデザイン・建築で切り拓く人材の育成を目指します。デザイン・建築を通じて地域や社会の課題解決に活かせる能力を身につけるために、体系的な教育課程を以下のように編成しています。

【共通教育科目】

共通教育科目では、デザイン・建築の専門家として求められる実践的自律性を培うため、教養教育の導入、理論、実践を網羅する科目群を編成しています。

【修学基礎力】

高校の学びから大学での学びへの転換と準備のための初年次教育ならびに各学科の専門性への学びを促す修学基礎科目群

【人間・社会・自然の理解】

人間や社会及び文化について考えるため、普遍的な理論や知識を修得し人間理解を深めるとともに、多様な社会の仕組みや歴史を修得し、そのあり方を問う論理的思考力や課題発見力を養う人文・社会科学科目群

自然現象やそれに関わる発見から普遍的な真理を探究することを通じ、論理的思考力や課題発見力などを身につける自然科学科目群

心身の健康に関する理論や知識を修得し生活する上で適切な判断を導く思考力を養うとともに、生涯にわたり健全な社会生活を送るための技能を修得する健康科学科目群

以上の学問分野において、主体的に課題を設定し、調査、考察、発表、討論を経て最終的な解決に取り組む複合 PBL 科目群

【コミュニケーション力】

グローバル化する国内外の地域で活躍するために必要な語学力を育成し、国際社会における課題を理解する視点を深める語学国際科目群、相互対話によって主体的に問題に取り組み自らの見解を他者に合理的に発信できる複合 PBL 科目群

【多様な人々と協働する力】

豊かな人間性をもって地域で活躍するために必要な課題発見力と多様な人々との協働性を養成する社会連携科目群

【学部教育科目】

学部教育科目では、全学科に共通するデザイン・建築に関する専門的な知識・技能を学び、それらを活用するために必要な実践的な能力を養うための科目を編成しています。

すなわち、デザイン・建築の分野における基礎知識・技能、倫理観を養うための学部基礎科目群、並びに各学科に応じた専門知識・技能と応用力を身に付け、論理的思考に基づき主体的、計画的に課題解決・造形表現するための判断力・実践力を養う学科専門科目群を配置しています。

また、系統的に修得したデザイン・建築分野の専門的知識・技能を基礎とし、主体的に地域や社会に関わる課題を解決に導くための計画・遂行能力、ならびにそれらを継続的に自ら積み上げていく力を養う卒業研究を配置しています。

1　ビジュアルデザイン学科

1.1　本学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

ビジュアルデザイン学科では、様々なメディアを横断する視覚伝達の知識・技能を基盤に、各分野の専門性を修得することにより、地域・国際社会の持続的発展のために、その能力を発揮できるグラフィックデザイナー・映像クリエイター等、広告業界や出版業界で活躍できる人材の育成を目指しています。

卒業要件を満たすことにより、次の能力や態度・意欲を身に付けた者に学位を授与します。

A.【人間・社会・自然の理解】

人文科学、社会科学、自然科学、健康科学の知識を通して、人間・社会・自然を理解する力を身に付けている。

B.【倫理観】

ビジュアルデザインの専門家として求められる倫理性や環境のあり方など社会の規範についての倫理観と豊かな人間性を身に付けている。

C-1.【専門的知識・技能1】

ビジュアルデザインの専門家として必要な視覚伝達の理論、プランニング、情報発信、リテラシー等における基礎知識と技能を身に付けている。

C-2.【専門的知識・技能2】

グラフィックデザイナー・映像クリエイター等、広告業界や出版業界で活躍できる人材として必要な専門知識と技術力、ならびに表現力を身に付けている。

D.【論理的思考力・判断力・実践力】

地域・社会の問題に立脚した様々なデータや情報を論理的に処理し、ビジュアルデザインに展開する力を身に付けている。

グラフィック、映像の専門性を活かし、地域・社会のニーズに対して主体的に課題解決することができる思考力、判断力、実践力を身に付けている。

E.【課題発見・解決力】【主体性】

修得したビジュアルデザイン分野の高度な専門知識・技能を活用し、地域・社会の問題を背景とした課題発見、主体的・計画的に解決する力を身に付けている。

F.【コミュニケーション力】

ビジュアルデザイン分野における表現伝達力、口頭発表力、討議能力、企画提案力、異文化への理解能力、特にデザイン表現などを含めたコミュニケーション能力と、デザインに関連した地域の課題、また国際社会における課題を理解する視点を身に付けている。

G.【多様な人々と協働する力】

地域社会や国際社会において他者との関わりの中でビジュアルデザインを行うために必要な自己管理能力をもって多様な人々と協調・協働する姿勢を身に付けている。

1.2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【基本方針】

ビジュアルデザイン学科では学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、デザインに関する広範囲な分野の専門的知識・技能を基礎として、新しい時代をビジュアルデザインで切り拓く人材の育成を目指します。デザインを通じて地域や社会の課題解決に活かせる能力を身につけるために、体系的な教育課程を以下のように編成しています。

【共通教育科目】

共通教育科目では、ビジュアルデザイン分野の専門家として求められる実践的自律性を培うため、教養教育の導入、理論、実践を網羅する科目群を編成しています。

【修学基礎力】

高校の学びから大学での学びへの転換と準備のための初年次教育ならびにビジュアルデザイン学科の専門性への学びを促す修学基礎科目群

【人間・社会・自然の理解】

人間や社会及び文化について考えるため、普遍的な理論や知識を修得し人間理解を深めるとともに、多様な社会の仕組みや歴史を修得し、そのあり方を問う論理的思考力や課題発見力を養う人文・社会科学科目群

自然現象やそれに関わる発見から普遍的な真理を探究することを通じ、論理的思考力や課題発見力などを身につける自然科学科目群

心身の健康に関する理論や知識を修得し生活する上で適切な判断を導く思考力を養うとともに、生涯にわたり健全な社会生活を送るための技能を修得する健康科学科目群

以上の学問分野において、主体的に課題を設定し、調査、考察、発表、討論を経て最終的な解決に取り組む複合 PBL 科目群

【コミュニケーション力】

グローバル化する国内外の地域で活躍するために必要な語学力を育成し、国際社会における課題を理解する視点を深める語学国際科目群、相互対話によって主体的に問題に取り組み自らの見解を他者に合理的に発信できる複合 PBL 科目群

【多様な人々と協働する力】

豊かな人間性をもって地域で活躍するために必要な課題発見力と多様な人々との協働性を養成する社会連携科目群

【学部教育科目】

学部教育科目では、ビジュアルデザイン学科に関する専門的な知識・技能を学び、それらを活用するために必要な実践的な能力を養うための科目群を編成しています。

【専門的知識・技能1】

ビジュアルデザインの専門家として必要な視覚伝達の理論、プランニング、情報発信、リテラシー等における基礎知識と技能を養成する講義科目を中心とした学部基礎科目群

【専門的知識・技能2】

グラフィックデザイナー・映像クリエイター等、広告業界や出版業界で活躍できる専門家として必要な専門知識と高度な技術力並びに感性を養成する学科専門科目群

【倫理観】

ビジュアルデザインの専門家として求められる倫理性や環境のあり方など社会の規範についての知識理解力と姿勢を養う知的財産権等の学部基礎科目および、ビジュアルデザイン概論等の学科専門科目群

【論理的思考力・判断力・実践力】

ビジュアルデザイン分野の専門性を基盤に、様々な課題を論理的に処理する力、並びに、グラフィック、映像の高度な専門性を活かし、地域・社会のニーズに対してビジュアル表現を活かして主体的

に課題解決することができる判断力・実践力を養成するグラフィックデザイン専門/映像デザイン専門科目群

【課題発見・解決力】【主体性】【コミュニケーション力】【多様な人々と協働する力】

修得したビジュアルデザイン分野の高度な専門知識・技能を活用し、地域や社会等の問題を背景とした課題発見、主体的・計画的に解決する力、及びビジュアルデザイン分野における表現伝達力、口頭発表力、討議能力、企画提案力、デザイン表現などを含めたコミュニケーション能力や他者との関わりの中でビジュアルデザインを行うために必要な自己管理能力をもって多様な人々と協働する力を修得するビジュアルデザインキャリア科目群

特に、「卒業研究」では体系的に修得した専門知識や技能を基礎として発見した課題を自ら解決に導くためのデザイン計画・遂行能力を養う。

1.3　卒業要件と履修方法

(1) 卒業要件

卒業要件単位数は次表のとおりである。

	必修科目	選択科目	計
共通教育科目	18 単位	14 単位	32 単位
学部教育科目	52 単位	40 単位	92 単位
計	70 単位	54 単位	124 単位

(2) 卒業研究の履修要件

4年次に開講される卒業研究を履修するには、次の3項目の条件を全て充足しなければならない。

・卒業要件単位数124単位のうち、100単位以上を修得済みであること。

・3年次までに開講されている学部教育科目のうち、全ての必修科目が修得済みであること。

・「グラフィックデザイン専門／映像デザイン専門」科目群の何れか全ての単位を修得済みであること。

(3) 他学部・他学科開講科目の取り扱い

工芸工業デザイン学科及び建築学科開講の学部教育科目の単位を修得した場合、8単位を超えない範囲で、修得単位を「学部基礎科目」の選択科目の単位として取り扱う。保健福祉学部および情報工学部開講の学部教育科目は自由科目として取り扱う。

(4) 先修科目の設定

「グラフィックデザイン専門／映像デザイン専門」科目群及び、ビジュアルデザインキャリア科目に、先修条件を設定する科目を設けている。

先修条件が設定されている科目を履修するには、当該科目において指定された別の科目が全て修得済みでなければならない。（別表を参照）

(5) 「グラフィックデザイン専門/映像デザイン専門」科目群の選択

2年次からは、学科専門科目における「グラフィックデザイン専門／映像デザイン専門」科目群の何れかを選択し、選択した科目群で開講されているすべての科目を修得しなければならない。

科目群選択に際し、1年次後期に、両科目群に対する説明会を実施予定。科目群毎の定員は設けていないが、必要に応じて履修登録前に学科より指導が行われる。

［別表：先修条件設定科目と先修条件］

先修条件設定科目	学年	開講期	先修条件
グラフィックデザイン演習Ⅱ	2	後期	グラフィックデザイン論
			グラフィックデザイン演習Ⅰ
グラフィックデザイン演習Ⅲ	3	前期	グラフィックデザイン演習Ⅱ
グラフィックデザイン演習Ⅳ	3	後期	グラフィックデザイン演習Ⅲ
映像デザイン演習Ⅱ	2	後期	映像デザイン論
			映像デザイン演習Ⅰ
映像デザイン演習Ⅲ	3	前期	映像デザイン演習Ⅱ
映像デザイン演習Ⅳ	3	後期	映像デザイン演習Ⅲ
ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅲ	3	後期	ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅰ
			ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅱ

＊先修条件設定科目を履修するには、先修条件で指定された科目の単位を全て修得していなければならない。

1.4 授業科目

授業科目の名称		授業の方法	担当教員	開講年次および必修選択の別				開講時間数	開講単位数	卒業要件単位数
				1	2	3	4			
学部基礎科目	デザイン史	講義	河合	◎				30	2	学部基礎科目・学科専門科目・ビジュアルデザインキャリア科目から９２単位以上
	日本デザイン論	講義	※ 吉原	◎				30	2	
	おかやまのデザイン	講義	南川・※未定	○				30	2	
	造形文化論Ⅰ	講義	未定		◎			30	2	
	造形文化論Ⅱ	講義	河合		○			30	2	
	色彩学	講義	髙橋	◎				30	2	
	視覚心理学	講義	※ 栗川			○		30	2	
	文章表現技法	講義	柴田			○		30	2	
	知的財産権	講義	※ 平野		◎			30	2	
	身体表象論	講義	※ 川野			○		30	2	
	インテリア概論	講義	岡北		○			30	2	
	空間デザイン論	講義	福濱			○		30	2	
	照明デザイン	講義	※ 藤原			○		30	2	
	人間工学	講義	舩山		○			30	2	
	マーケティング	講義	髙橋		○			30	2	
	デザインマネジメント	講義	※ 嘉数			○		30	2	
	地域とデザイン	講義	※ 印南			○		30	2	
	展示計画	演習	北山・島田			○		30	2	
	アートプロデュース論	講義	※ 佐藤			○		15	1	
	国際交流	演習	真世土・西川			○		30	2	
	地域デザイン演習	演習	※ 未定		○			30	2	
学科専門科目	ビジュアルデザイン概論	講義	野宮、関﨑、北山 西田、中西、髙橋 山下、齋藤、風早	◎				30	2	
	ビジュアルデザイン基礎演習	演習	関﨑・山下・齋藤	◎				60	4	
	平面構成演習 Ⅰ	演習	西田	◎				30	2	
	ＤＴＰ演習	演習	中西	◎				30	2	
	色彩計画演習	演習	髙橋	◎				30	2	
	写真基礎演習Ⅰ	演習	北山	◎				30	2	
	描写	演習	関﨑	◎				30	2	
	タイポグラフィ演習Ⅰ	演習	野宮	◎				30	2	
	動画撮影・編集基礎	演習	山下	○				30	2	
	印刷基礎演習	演習	関﨑	○				30	2	
	写真基礎演習Ⅱ	演習	北山		◎			30	2	
	タイポグラフィ演習 Ⅱ	演習	野宮		◎			30	2	
	ＷＥＢデザイン演習Ⅰ	演習	石		◎			30	2	
	アカデミックライティング	講義	風早		◎			30	2	
	平面構成演習Ⅱ	演習	山下		○			30	2	
	広告論	講義	髙橋		○			30	2	
	イラストレーションⅠ	演習	中西		○			30	2	
	メディアコミュニケーション	演習	齋藤		○			30	2	
	パッケージデザイン	演習	西田		○			30	2	
	ＷＥＢデザイン演習Ⅱ	演習	石		○			30	2	
	写真表現演習	演習	北山			○		30	2	
	広告デザイン演習	演習	※ 嘉数			○		30	2	
	３ＤＣＧ演習	演習	※ 奥牧			○		30	2	
	イラストレーションⅡ	演習	中西			○		30	2	
	ＵＸデザイン論	講義	石			○		30	2	
	ブランディング演習	演習	髙橋			○		30	2	

		授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次および必修選択の別 1	2	3	4	開講時間数	開講単位数	
学科専門科目	グラフィックデザイン専門科目	グラフィックデザイン論	講義	野宮・中西		○			30	2	
		グラフィックデザイン演習Ⅰ	演習	西田		○			60	4	
		グラフィックデザイン演習Ⅱ	演習	野宮・中西		□			60	4	
		グラフィックデザイン演習Ⅲ	演習	中西・野宮			□		60	4	
		グラフィックデザイン演習Ⅳ	演習	関﨑・髙橋			□		60	4	
	映像デザイン専門科目	映像デザイン論	講義	※ 嘉数		○			30	2	
		映像デザイン演習Ⅰ	演習	山下・北山		○			60	4	
		映像デザイン演習Ⅱ	演習	山下・※嘉数		□			60	4	
		映像デザイン演習Ⅲ	演習	齋藤			□		60	4	
		映像デザイン演習Ⅳ	演習	齋藤、北山、山下			□		60	4	
ビジュアルデザインキャリア科目		ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅰ	演習	関﨑・北山・齋藤・西田		◎			30	2	
		インターンシップ	演習	学科全教員			○		30	2	
		ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅱ	演習	関﨑・齋藤・西田			◎		30	2	
		ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅲ	演習	北山			□		30	2	
		ビジュアルデザインゼミナールⅠ	演習	学科全教員			◎		30	2	
		ビジュアルデザインゼミナールⅡ	演習	学科全教員			◎		30	2	
		未来型プロジェクト〈森と木〉	演習	南川・向山				○	120	4	
		卒業研究	演習	学科全教員				◎	120	8	

注）

「◎」印は学科必修科目、「○」印は学科選択科目、「□」印は学科選択科目で先修条件が設定されている科目

＊先修条件が設定されている科目を履修するには、当該授業において指定された別の授業の単位を全て修得済みでなければならない。

学部教育科目の卒業要件単位数は92単位、卒業要件単位数は124単位（共通教育科目32単位を含む）

学科専門科目では、グラフィックデザイン専門科目・映像デザイン専門科目の何れか全てを修得しなければならない。

学科全教員担当科目は学科所属の教授・准教授・講師・助教を担当教員とする。また、科目により助手が授業補助にあたる場合がある。

※は非常勤講師

担当教員は変更になる場合がある。

1.5 科目ナンバリング

カテゴリー		授業科目の名称	科目ナンバリング	分野1（略称と英語名称）		分野2（略称と英語名称）	
				略称	英語名称	略称	英語名称
学部基礎教育科目		デザイン史	DGS_HDS-E0-1R-L0	DGS	General Science of Design	HDS	History of Design
		日本デザイン論	DGS_JPD-E0-1R-L0			JPD	Japanese Design
		おかやまのデザイン	DGS_OKD-E0-1E-L0			OKD	Okayama Design
		造形文化論Ⅰ	DGS_AES-E0-2R-L0			AES	Aesthetics
		造形文化論Ⅱ	DGS_IMS-E0-2E-L0			IMS	Image Studies
		色彩学	DGS_SCL-E0-1R-L0			SCL	Science of Color
		視覚心理学	DGS_PSY-E0-3E-L0			PSY	Psychology of Visual Perception
		文章表現技法	DGS_WRT-E0-3E-L0			WRT	Writing Skills
		知的財産権	DGS_IPR-E0-2R-L0			IPR	Intellectual Property Rights
		身体表象論	DGS_BDR-E0-3E-L0			BDR	Bodily Representation Theories
		インテリア概論	DGS_ITD-E0-2E-L0			ITD	Interior Design
		空間デザイン論	DGS_SPD-E0-3E-L0			SPD	Spatial Design
		照明デザイン	DGS_LTD-E0-3E-L0			LTD	Lighting Design
		人間工学	DGS_ERG-E0-2E-L0			ERG	Ergonomics
		マーケティング	DGS_MKT-E0-2E-L0			MKT	Marketing
		デザインマネジメント	DGS_DMG-E0-3E-L0			DMG	Design Management
		地域とデザイン	DGS_DCM-E0-3E-L0			DCM	Design and Community
		展示計画	DGS_ISP-E0-3E-S0			ISP	Installation Planning
		アートプロデュース論	DGS_APP-E0-3E-L0			APP	Art Project Planning
		国際交流	DGS_IDS-E0-3E-S0			IDS	International Design Studies
		地域デザイン演習	DGS_DPC-E0-2E-S0			DPC	Design Practice in Communities
学科専門科目		ビジュアルデザイン概論	DVD_IVD-E5-1R-L0	DVD	Science of Visual Design	IVD	Introduction to Visual Design
		ビジュアルデザイン基礎演習	DVD_VBP-E5-1R-S0			VBP	Visual Design Basic Practice
		平面構成演習 Ⅰ	DVD_2D1-E5-1R-S0			2D1	2-Dimensional Composition I
		ＤＴＰ演習	DVD_DTP-E5-1R-S0			DTP	DeskTop Publishing
		色彩計画演習	DVD_COD-E5-1R-S0			COD	Color Design
		写真基礎演習Ⅰ	DVD_PB1-E5-1R-S0			PB1	Photography Basics Ⅰ
		描写	DVD_DRA-E5-1R-S0			DRA	Drawing
		タイポグラフィ演習Ⅰ	DVD_TP1-E5-1R-S0			TP1	Typography I
		動画撮影・編集基礎	DVD_DVF-E5-1E-S0			DVF	Digital Video Fundamentals
		印刷基礎演習	DVD_ITP-E5-1E-S0			ITP	Introduction to Printing
		写真基礎演習Ⅱ	DVD_PB2-E5-2R-S0			PB2	Photography Basics Ⅱ
		タイポグラフィ演習 Ⅱ	DVD_TP2-E5-2R-S0			TP2	Typography Ⅱ
		ＷＥＢデザイン演習Ⅰ	DVD_WD1-E5-2R-S0			WD1	Web Design Ⅰ
		アカデミックライティング	DVD_ACW-E5-2R-L0			ACW	Academic Writing
		平面構成演習Ⅱ	DVD_2D2-E5-2E-S0			2D2	2-Dimensional Composition II
		広告論	DVD_ADT-E5-2E-L0			ADT	Advertising
		イラストレーションⅠ	DVD_IL1-E5-2E-S0			IL1	Illustration Ⅰ
		メディアコミュニケーション	DVD_MCO-E5-2E-S0			MCO	Media Communication
		パッケージデザイン	DVD_PKD-E5-2E-S0			PKD	Packaging Design
		ＷＥＢデザイン演習Ⅱ	DVD_WD2-E5-2E-S0			WD2	Web Design Ⅱ
		写真表現演習	DVD_PHE-E5-3E-S0			PHE	Photographic Expression
		広告デザイン演習	DVD_ADD-E5-3E-S0			ADD	Advertising Design
		３ＤＣＧ演習	DVD_3DC-E5-3E-S0			3DC	3-Dimensional Computer Graphics
		イラストレーションⅡ	DVD_IL2-E5-3E-S0			IL2	Illustration Ⅱ
		ＵＸデザイン論	DVD_UEX-E5-3E-L0			UEX	User Experience
		ブランディング演習	DVD_BRA-E5-3E-S0			BRA	Branding
	グラフィックデザイン専門科目	グラフィックデザイン論	DVD_IGD-E5-2B-L0			IGD	Introduction to Graphic Design
		グラフィックデザイン演習Ⅰ	DVD_GD1-E5-2B-S0			GD1	Graphic Design I Practice
		グラフィックデザイン演習Ⅱ	DVD_GD2-E5-2B-S0			GD2	Graohic Design Ⅱ Practice
		グラフィックデザイン演習Ⅲ	DVD_GD3-E5-3B-S0			GD3	Graphic Design Ⅲ Practice
		グラフィックデザイン演習Ⅳ	DVD_GD4-E5-3B-S0			GD4	Graphic Design Ⅳ Practice
	映像デザイン専門科目	映像デザイン論	DVD_IIS-E5-2B-L0			IIS	Introduction to Imaging Arts and Sciences
		映像デザイン演習Ⅰ	DVD_IP1-E5-2B-S0			IP1	Imaging Arts and Sciences Practice Ⅰ
		映像デザイン演習Ⅱ	DVD_IP2-E5-2B-S0			IP2	Imaging Arts and Sciences Practice Ⅱ
		映像デザイン演習Ⅲ	DVD_IP3-E5-3B-S0			IP3	Imaging Arts and Sciences Practice Ⅲ
		映像デザイン演習Ⅳ	DVD_IP4-E5-3B-S0			IP4	Imaging Arts and Sciences Practice Ⅳ
ビジュアルデザインキャリア科目		ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅰ	DCV_VP1-E5-2R-S0	DCV	Career Development in Visual Design	VP1	Visual Design Project Ⅰ
		インターンシップ	DCV_INT-E5-3E-S0			INT	Internship
		ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅱ	DCV_VP2-E5-3R-S0			VP2	Visual Design Project Ⅱ
		ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅲ	DCV_VP3-E5-3E-S0			VP3	Visual Design Project Ⅲ
		ビジュアルデザインゼミナールⅠ	DCV_DS1-E5-3R-S0			DS1	Visual Design Seminar Ⅰ
		ビジュアルデザインゼミナールⅡ	DCV_DS2-E5-3R-S0			DS2	Visual Design Seminar Ⅱ
		未来型プロジェクト〈森と木〉	DCV_FOP-E5-4E-S0			FOP	Future-oriented Project〈Forest and Wood〉
		卒業研究	DCV_GRP-E5-4R-S0			GRP	Graduation Project

1.6 カリキュラムマップ

授業科目の名称		学位授与の方針に対する関与の程度 ◎:各方針と関係が深い科目 ○:各方針と関係する科目							
		A	B	C-1	C-2	D	E	F	G
学部基礎科目	デザイン史			◎					
	日本デザイン論			◎					
	おかやまのデザイン	◎							
	造形文化論Ⅰ			◎					
	造形文化論Ⅱ			◎					
	色彩学			◎					
	視覚心理学			◎					
	文章表現技法			◎					
	知的財産権		○	◎					
	身体表象論			◎					
	インテリア概論			◎					
	空間デザイン論			◎					
	照明デザイン			◎					
	人間工学			◎					
	マーケティング			◎					
	デザインマネジメント			◎					
	地域とデザイン			◎					
	展示計画			◎					
	アートプロデュース論			◎					
	国際交流			◎					
	地域デザイン演習			◎					
学科専門科目	ビジュアルデザイン概論		○		◎				
	ビジュアルデザイン基礎演習				◎				
	平面構成演習 Ⅰ				◎				
	ＤＴＰ演習				◎				
	色彩計画演習				◎				
	写真基礎演習Ⅰ				◎				
	描写				◎				
	タイポグラフィ演習Ⅰ				◎				
	動画撮影・編集基礎				◎				
	印刷基礎演習				◎				
	写真基礎演習Ⅱ				◎				
	タイポグラフィ演習 Ⅱ				◎				
	ＷＥＢデザイン演習Ⅰ				◎				
	アカデミックライティング				◎				
	平面構成演習Ⅱ				◎				
	広告論				◎				
	イラストレーションⅠ				◎				
	メディアコミュニケーション				◎				
	パッケージデザイン				◎				
	ＷＥＢデザイン演習Ⅱ				◎				
	写真表現演習				◎				
	広告デザイン演習				◎				
	３ＤＣＧ演習				◎				
	イラストレーションⅡ				◎				
	ＵＸデザイン論				◎				
	ブランディング演習				◎				
グラフィックデザイン専門科目	グラフィックデザイン論				◎	○			
	グラフィックデザイン演習Ⅰ				○	◎			
	グラフィックデザイン演習Ⅱ				○	◎			
	グラフィックデザイン演習Ⅲ				○	◎			
	グラフィックデザイン演習Ⅳ				○	◎			
映像デザイン専門科目	映像デザイン論				◎	○			
	映像デザイン演習Ⅰ				○	◎			
	映像デザイン演習Ⅱ				○	◎			
	映像デザイン演習Ⅲ				○	◎			
	映像デザイン演習Ⅳ				○	◎			
ビジュアルデザインキャリア科目	ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅰ						◎	○	
	インターンシップ						◎		○
	ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅱ						◎		○
	ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅲ						◎		○
	ビジュアルデザインゼミナールⅠ						◎		
	ビジュアルデザインゼミナールⅡ						◎		
	未来型プロジェクト〈森と木〉								○
	卒業研究						◎		

ビジュアルデザイン学科　学位授与の方針

ビジュアルデザイン学科では、様々なメディアを横断する視覚伝達の知識・技能を基盤に、各分野の専門性を修得することにより、地域・国際社会の持続的発展のために、その能力を発揮できるグラフィックデザイナー・映像クリエイター等、広告業界や出版業界で活躍できる人材の育成を目指しています。
卒業要件を満たすことにより、次の能力や態度・意欲を身に付けた者に学位を授与します。

A　**【人間・社会・自然の理解】**
人文科学、社会科学、自然科学、健康科学の知識を通して、人間・社会・自然を理解する力を身に付けている。

B　**【倫理観】**
ビジュアルデザインの専門家として求められる倫理性や環境のあり方など社会の規範についての倫理観と豊かな人間性を身に付けている。

C-1**【専門的知識・技能1】**
ビジュアルデザインの専門家として必要な視覚伝達の理論、プランニング、情報発信、リテラシー等における基礎知識と技能を身に付けている。

C-2**【専門的知識・技能2】**
グラフィックデザイナー・映像クリエイター等、広告業界や出版業界で活躍できる人材として必要な専門知識と技術力、ならびに表現力を身に付けている。

D　**【論理的思考力・判断力・実践力】**
地域・社会の問題に立脚した様々なデータや情報を論理的に処理し、ビジュアルデザインに展開する力を身に付けている。
グラフィック、映像の専門性を活かし、地域・社会のニーズに対して主体的に課題解決することができる思考力、判断力、実践力を身に付けている。

E　**【課題発見・解決力】【主体性】**
修得したビジュアルデザイン分野の高度な専門知識・技能を活用し、地域・社会の問題を背景とした課題発見、主体的・計画的に解決する力を身に付けている。

F　**【コミュニケーション力】**
ビジュアルデザイン分野における表現伝達力、口頭発表力、討議能力、企画提案力、異文化への理解能力、特にデザイン表現などを含めたコミュニケーション能力と、デザインに関連した地域の課題、また国際社会における課題を理解する視点を身に付けている。

G　**【多様な人々と協働する力】**
地域社会や国際社会において他者との関わりの中でビジュアルデザインを行うために必要な自己管理能力をもって多様な人々と協調・協働する姿勢を身に付けている。

1.7 カリキュラムツリー

DP	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
修学基礎	大学で学ぶ フレッシュマンセミナー							
A	人文・社会科学要論 日本語表現法	芸術学						
	「人文・社会科学」カテゴリー科目							
	自然科学要論							
	「自然科学」カテゴリー科目							
	「健康科学」カテゴリー科目							
	「複合PBL科目」カテゴリー科目							
		おかやまのデザイン						
B	社会連携要論 ビジュアルデザイン概論		知的財産権					
C-1	デザイン史 色彩学	日本デザイン論	造形文化論I 知的財産権 インテリア概論 人間工学 地域デザイン演習	造形文化論II マーケティング	視覚心理学 身体表象論 空間デザイン論 照明デザイン デザインマネジメント 展示計画 アートプロデュース論 国際交流	文章表現技法 地域とデザイン		
C-2	ビジュアルデザイン概論 ビジュアルデザイン基礎演習 写真基礎演習Ⅰ 描写	平面構成演習Ⅰ DTP演習 色彩計画演習 タイポグラフィ演習Ⅰ 動画撮影・編集基礎 印刷基礎演習	写真基礎演習Ⅱ タイポグラフィ演習Ⅱ WEBデザイン演習Ⅰ 平面構成演習Ⅱ グラフィックデザイン論 グラフィックデザイン演習Ⅰ 映像デザイン論 映像デザイン演習Ⅰ	アカデミックライティング 広告論 イラストレーションⅠ WEBデザイン演習Ⅱ メディアコミュニケーション パッケージデザイン グラフィックデザイン演習Ⅱ 映像デザイン演習Ⅱ	写真表現演習 広告デザイン演習 3DCG演習 イラストレーションⅡ UXデザイン論 ブランディング演習 グラフィックデザイン演習Ⅲ 映像デザイン演習Ⅲ	グラフィックデザイン演習Ⅳ 映像デザイン演習Ⅳ		
D			グラフィックデザイン論 グラフィックデザイン演習Ⅰ 映像デザイン論 映像デザイン演習Ⅰ	グラフィックデザイン演習Ⅱ 映像デザイン演習Ⅱ	グラフィックデザイン演習Ⅲ 映像デザイン演習Ⅲ	グラフィックデザイン演習Ⅳ 映像デザイン演習Ⅳ		
E				ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅰ	ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅱ ビジュアルデザインゼミナールⅠ インターンシップ	ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅲ ビジュアルデザインゼミナールⅡ	卒業研究	
F	ELP1 ELP2	ELP3 ELP4	ELP5	ELP6				
	「語学国際」カテゴリー科目							
	「複合PBL科目」カテゴリー科目							
				ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅰ				
G	社会連携要論	地域資源学						
	「社会連携」カテゴリー科目							
					ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅱ インターンシップ	ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅲ	未来型プロジェクト<森と木>	

1.8　履修モデル

① グラフィックデザイナーをめざす場合（◎：必修、○：選択必修、無印：選択）

グラフィックデザイナーには、情報を整理し、構図や色彩、画像・写真等の素材や文字の配置等を考え、適切且つ分かりやすく視覚伝達できる能力が求められます。主に印刷媒体を対象としますがその範囲は広く、ポスター、フライヤー、新聞広告、雑誌、書籍、商品パッケージ、サイン等、多岐にわたります。１、２年次では、基礎的かつ幅広い知識、技能の修得を目指し、２、３年次では、グラフィックデザイン専門科目を中心に、関連する科目を履修するとよいでしょう。

共通教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ＥＬＰ５	1	全カテゴリーから５	5		
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ＥＬＰ６	1				
◎人文・社会科学要論	2	人文・社会科学カテゴリーから２	2				
◎芸術学	2	自然科学カテゴリーから１	1				
◎日本語表現法	2	健康科学カテゴリーから３	3				
◎自然科学要論	2	語学国際カテゴリーから２	2				
◎ＥＬＰ１	1						
◎ＥＬＰ２	1						
◎ＥＬＰ３	1						
◎ＥＬＰ４	1						
◎社会連携要論	1						
◎地域資源学	1						
複合ＰＢＬ科目から１	1						
小計	１７	小計	１０	小計	5	小計	

備考
- 人文・社会科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
- 自然科学カテゴリーから選択科目１単位を修得すること。
- 健康科学カテゴリーから選択科目３単位を修得すること。
- 語学国際カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
- 複合ＰＢＬ科目から選択科目１単位を修得すること。
- 全カテゴリーから選択科目５単位を修得すること。

学部教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎デザイン史	2	◎造形文化論Ⅰ	2	◎ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅱ	2	◎卒業研究	8
◎日本デザイン論	2	◎知的財産権	2	◎ビジュアルデザインゼミナールⅠ	2		
◎色彩学	2	◎写真基礎演習Ⅱ	2	◎ビジュアルデザインゼミナールⅡ	2		
◎ビジュアルデザイン概論	2	◎タイポグラフィ演習Ⅱ	2	写真表現演習	2		
◎ビジュアルデザイン基礎演習	4	◎ＷＥＢデザイン演習Ⅰ	2	広告デザイン演習	2		
◎平面構成演習Ⅰ	2	◎アカデミックライティング	2	イラストレーションⅡ	2		
◎ＤＴＰ演習	2	◎ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅰ	2	ブランディング演習	2		
◎色彩計画演習	2	広告論	2	○グラフィックデザイン演習Ⅲ	4		
◎写真基礎演習Ⅰ	2	イラストレーションⅠ	2	○グラフィックデザイン演習Ⅳ	4		
◎描写	2	メディアコミュニケーション	2	ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅲ	2		
◎タイポグラフィ演習Ⅰ	2	パッケージデザイン	2	インターンシップ	2		
印刷基礎演習	2	○グラフィックデザイン論	2				
		○グラフィックデザイン演習Ⅰ	4				
		○グラフィックデザイン演習Ⅱ	4				
小計	２６	小計	３２	小計	２６	小計	8

履修上の注意

3年次修了までに、次の3項目の全てを満たすこと。

・卒業要件単位数124単位のうち、100単位以上を修得済みであること。

・3年次までに開講される学部教育科目のうち、必修の単位をすべて修得済みであること。

・「グラフィックデザイン専門/映像デザイン専門」科目群の何れかすべての単位を修得済みであること。

② アートディレクターをめざす場合（◎：必修、○：選択必修、無印：選択）

アートディレクターは、グラフィックデザインの分野を中心に、相手が求めていることに対し、視覚的表現手段の有効な活用を目指して計画し、プロジェクトを率いていく能力が求められます。その為には、様々な表現手段に精通していると共に、プロジェクトの管理能力が求められます。１、２年次では、基礎的かつ幅広い知識、技能の修得を目指し、２、３年次では、グラフィックデザイン専門科目を中心に、関連する科目を履修するとよいでしょう。

共通教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ＥＬＰ５	1	全カテゴリーから５	5		
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ＥＬＰ６	1				
◎人文・社会科学要論	2	人文・社会科学カテゴリーから２	2				
◎芸術学	2	自然科学カテゴリーから１	1				
◎日本語表現法	2	健康科学カテゴリーから３	3				
◎自然科学要論	2	語学国際カテゴリーから２	2				
◎ＥＬＰ１	1						
◎ＥＬＰ２	1						
◎ＥＬＰ３	1						
◎ＥＬＰ４	1						
◎社会連携要論	1						
◎地域資源学	1						
複合ＰＢＬ科目から１	1						
小計	１７	小計	１０	小計	5	小計	

備考
・人文・社会科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・自然科学カテゴリーから選択科目１単位を修得すること。
・健康科学カテゴリーから選択科目３単位を修得すること。
・語学国際カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・複合ＰＢＬ科目から選択科目１単位を修得すること。
・全カテゴリーから選択科目５単位を修得すること。

学部教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎デザイン史	2	◎造形文化論Ⅰ	2	◎ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅱ	2	◎卒業研究	8
◎日本デザイン論	2	◎知的財産権	2	◎ビジュアルデザインゼミナールⅠ	2		
◎色彩学	2	◎写真基礎演習Ⅱ	2	◎ビジュアルデザインゼミナールⅡ	2		
◎ビジュアルデザイン概論	2	◎タイポグラフィ演習Ⅱ	2	広告デザイン演習	2		
◎ビジュアルデザイン基礎演習	4	◎ＷＥＢデザイン演習Ⅰ	2	ＵＸデザイン論	2		
◎平面構成演習Ⅰ	2	◎アカデミックライティング	2	ブランディング演習	2		
◎ＤＴＰ演習	2	◎ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅰ	2	○グラフィックデザイン演習Ⅲ	4		
◎色彩計画演習	2	広告論	2	○グラフィックデザイン演習Ⅳ	4		
◎写真基礎演習Ⅰ	2	イラストレーションⅠ	2	ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅲ	2		
◎描写	2	メディアコミュニケーション	2	インターンシップ	2		
◎タイポグラフィ演習Ⅰ	2	パッケージデザイン	2				
動画撮影・編集基礎	2	○グラフィックデザイン論	2				
印刷基礎演習	2	○グラフィックデザイン演習Ⅰ	4				
		○グラフィックデザイン演習Ⅱ	4				
小計	２８	小計	３２	小計	２４	小計	8

履修上の注意

3年次修了までに、次の3項目の全てを満たすこと。

・卒業要件単位数124単位のうち、100単位以上を修得済みであること。

・3年次までに開講される学部教育科目のうち、必修の単位をすべて修得済みであること。

・「グラフィックデザイン専門/映像デザイン専門」科目群の何れかすべての単位を修得済みであること。

③　ＷＥＢデザイナーをめざす場合（◎：必修、○：選択必修、無印：選択）

ＷＥＢデザイナーはモバイルやＰＣなど様々なメディアを向け、目的を明確にした情報をデザインします。伝達しようとする情報（商品、サービス）を綺麗に視覚化することからユーザーが無理なく情報を検索出来るようにデザインする力が必要です。そのためにはビジュアルの表現を含め、総合的な能力が求められます。また、Web サイトの制作は複数人数によって制作されることが多いため、プロジェクトを理解し、メンバーとの協働のためのコミュニケーション能力も要求されます。１、２年次では、基礎的かつ幅広い知識、技能の修得を目指し、２、３年次では、映像デザイン専門科目を中心に、関連する科目を履修するとよいでしょう。

共通教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ＥＬＰ５	1	全カテゴリーから５	5		
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ＥＬＰ６	1				
◎人文・社会科学要論	2	人文・社会科学カテゴリーから２	2				
◎芸術学	2	自然科学カテゴリーから１	1				
◎日本語表現法	2	健康科学カテゴリーから３	3				
◎自然科学要論	2	語学国際カテゴリーから２	2				
◎ＥＬＰ１	1						
◎ＥＬＰ２	1						
◎ＥＬＰ３	1						
◎ＥＬＰ４	1						
◎社会連携要論	1						
◎地域資源学	1						
複合ＰＢＬ科目から１	1						
小計	１７	小計	１０	小計	5	小計	

備考
- 人文・社会科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
- 自然科学カテゴリーから選択科目１単位を修得すること。
- 健康科学カテゴリーから選択科目３単位を修得すること。
- 語学国際カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
- 複合ＰＢＬ科目から選択科目１単位を修得すること。
- 全カテゴリーから選択科目５単位を修得すること。

学部教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎デザイン史	2	◎造形文化論Ⅰ	2	◎ビジュアルデザインプロ		◎卒業研	8
◎日本デザイン論	2	◎知的財産権	2	ジェクト演習Ⅱ	2	究	
◎色彩学	2	◎写真基礎演習Ⅱ	2	◎ビジュアルデザインゼミ			
◎ビジュアルデザイン概論	2	◎タイポグラフィ演習Ⅱ	2	ナールⅠ	2		
◎ビジュアルデザイン基礎演習	4	◎ＷＥＢデザイン演習Ⅰ	2	◎ビジュアルデザインゼミ			
◎平面構成演習Ⅰ	2	◎アカデミックライティング	2	ナールⅡ	2		
◎ＤＴＰ演習	2	◎ビジュアルデザインプロジェ		写真表現演習	2		
◎色彩計画演習	2	クト演習Ⅰ	2	広告デザイン演習	2		
◎写真基礎演習Ⅰ	2	平面構成演習Ⅱ	2	３ＤＣＧ演習	2		
◎描写	2	広告論	2	ＵＸデザイン論	2		
◎タイポグラフィ演習Ⅰ	2	イラストレーションⅠ	2	ブランディング演習	2		
		メディアコミュニケーション	2	○映像デザイン演習Ⅲ	4		
		ＷＥＢデザイン演習Ⅱ	2	○映像デザイン演習Ⅳ	4		
		○映像デザイン論	2	インターンシップ	2		
		○映像デザイン演習Ⅰ	4				
		○映像デザイン演習Ⅱ	4				
小計	２４	小計	３４	小計	２６	小計	8

履修上の注意

3年次修了までに、次の3項目の全てを満たすこと。

・卒業要件単位数124単位のうち、100単位以上を修得済みであること。

・3年次までに開講される学部教育科目のうち、必修の単位をすべて修得済みであること。

・「グラフィックデザイン専門/映像デザイン専門」科目群の何れかすべての単位を修得済みであること。

④　映像クリエイターをめざす場合（◎：必修、○：選択必修、無印：選択）

映像クリエイターは、写真やCM、テレビ番組や映画、アニメーションやＣＧ、ゲームなど幅広いメディアの映像を作る仕事です。撮影や編集、タイトルや音声の処理など、映像制作に関わる専門知識・技術と、企画書や脚本、絵コンテの作成など、企画提案・製作系の論理的な思考力・構成力・演出力が求められます。１、２年次では、基礎的かつ幅広い知識、技能の修得を目指し、２、３年次では、映像デザイン専門科目を中心に、関連する科目を履修するとよいでしょう。

共通教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ＥＬＰ５	1	全カテゴリーから５	5		
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ＥＬＰ６	1				
◎人文・社会科学要論	2	人文・社会科学カテゴリーから２	2				
◎芸術学	2	自然科学カテゴリーから１	1				
◎日本語表現法	2	健康科学カテゴリーから３	3				
◎自然科学要論	2	語学国際カテゴリーから２	2				
◎ＥＬＰ１	1						
◎ＥＬＰ２	1						
◎ＥＬＰ３	1						
◎ＥＬＰ４	1						
◎社会連携要論	1						
◎地域資源学	1						
複合ＰＢＬ科目から１	1						
小計	１７	小計	１０	小計	5	小計	

備考
・人文・社会科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・自然科学カテゴリーから選択科目１単位を修得すること。
・健康科学カテゴリーから選択科目３単位を修得すること。
・語学国際カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・複合ＰＢＬ科目から選択科目１単位を修得すること。
・全カテゴリーから選択科目５単位を修得すること。

学部教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎デザイン史	2	◎造形文化論Ⅰ	2	◎ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅱ	2	◎卒業研究	8
◎日本デザイン論	2	◎知的財産権	2	◎ビジュアルデザインゼミナールⅠ	2		
◎色彩学	2	◎写真基礎演習Ⅱ	2	◎ビジュアルデザインゼミナールⅡ	2		
◎ビジュアルデザイン概論	2	◎タイポグラフィ演習Ⅱ	2	写真表現演習	2		
◎ビジュアルデザイン基礎演習	4	◎ＷＥＢデザイン演習Ⅰ	2	広告デザイン演習	2		
◎平面構成演習Ⅰ	2	◎アカデミックライティング	2	３ＤＣＧ演習	2		
◎ＤＴＰ演習	2	◎ビジュアルデザインプロジェクト演習Ⅰ	2	イラストレーションⅡ	2		
◎色彩計画演習	2	平面構成演習Ⅱ	2	○映像デザイン演習Ⅲ	4		
◎写真基礎演習Ⅰ	2	広告論	2	○映像デザイン演習Ⅳ	4		
◎描写	2	イラストレーションⅠ	2	インターンシップ	2		
◎タイポグラフィ演習Ⅰ	2	メディアコミュニケーション	2				
動画撮影・編集基礎	2	ＷＥＢデザイン演習Ⅱ	2				
		○映像デザイン論	2				
		○映像デザイン演習Ⅰ	4				
		○映像デザイン演習Ⅱ	4				
小計	２６	小計	３４	小計	２４	小計	8

履修上の注意

3年次修了までに、次の3項目の全てを満たすこと。

・卒業要件単位数124単位のうち、100単位以上を修得済みであること。

・3年次までに開講される学部教育科目のうち、必修の単位をすべて修得済みであること。

・「グラフィックデザイン専門/映像デザイン専門」科目群の何れかすべての単位を修得済みであること。

2　工芸工業デザイン学科

2.1　本学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

工芸工業デザイン学科では、立体的な造形教育の知識・技能を基盤に、工芸的で緻密なデザイン制作と工業的で合理的なデザイン開発に関わる幅広い知識と技能を学び、産業界や地域社会で活躍でき、また社会の持続的発展に貢献できる人材の育成を目指しています。

卒業要件を満たすことにより、次の能力や態度・意欲を身に付けた者に学位を授与します。

A.【人間・社会・自然の理解】

人文科学、社会科学、自然科学、健康科学の知識を通して、人間・社会・自然を理解する力を身に付けている。

B.【倫理観】

工芸工業デザインの専門家として求められる倫理性や環境のあり方など社会の規範についての倫理観と豊かな人間性を身に付けている。

C-1.【専門的知識・技能１】

工芸デザインや工業デザインの専門家として必要な基本的な造形理論、プロダクト、テキスタイル、セラミックにおけるデザインに関わる歴史や文化等の基礎知識と技能を身に付けている。

C-2.【専門的知識・技能２】

工芸デザインや工業デザインの専門家として、企業や地域・社会で活躍できる造形技能、それらを統合するデザイナーとしての表現力を身に付けている。

D.【論理的思考力・判断力・実践力】

工芸デザインや工業デザインの専門性を活かして、プロダクト、テキスタイル、セラミックの各専門分野を活かして地域・社会の要請に対して、主体的にデザインすることができる思考力、判断力・実践力を身に付けている。

E.【課題発見・解決力】【主体性】

工芸工業デザイン分野の専門的な造形能力を活かし、社会の課題や新しい素材・造形技術に積極的に対応し、総合的に造形できる判断力・実践力、これらを継続的に学習、吸収する意欲を身に付けている。

F.【コミュニケーション力】

工芸工業デザイン分野における表現伝達力、口頭発表力、討議能力、企画提案力、特にデザイン表現や図面・模型などを含めたコミュニケーション能力と、デザインに関連した地域の課題、また国際社会における課題を理解する視点を身に付けている。

G.【多様な人々と協働する力】

地域社会や国際社会において他者との関わりの中で工芸工業デザインを行うために必要な自己管理能力をもって多様な人々と協調・協働する姿勢を身に付けている。

2.2 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【基本方針】

工芸工業デザイン学科では学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、デザインに関する広範囲な分野の専門的知識・技能を基礎として、新しい時代を工芸工業デザインで切り拓

く人材の育成を目指します。デザインを通じて地域や社会の課題解決に活かせる能力を身につけるために、体系的な教育課程を以下のように編成しています。

【共通教育科目】

共通教育科目では、工芸工業デザイン分野の専門家として求められる実践的自律性を培うため、教養教育の導入、理論、実践を網羅する科目群を編成しています。

【修学基礎力】

高校の学びから大学での学びへの転換と準備のための初年次教育ならびに工芸工業デザイン学科の専門性への学びを促す修学基礎科目群

【人間・社会・自然の理解】

人間や社会及び文化について考えるため、普遍的な理論や知識を修得し人間理解を深めるとともに、多様な社会の仕組みや歴史を修得し、そのあり方を問う論理的思考力や課題発見力を養う人文・社会科学科目群

自然現象やそれに関わる発見から普遍的な真理を探究することを通じ、論理的思考力や課題発見力などを身につける自然科学科目群

心身の健康に関する理論や知識を修得し生活する上で適切な判断を導く思考力を養うとともに、生涯にわたり健全な社会生活を送るための技能を修得する健康科学科目群

以上の学問分野において、主体的に課題を設定し、調査、考察、発表、討論を経て最終的な解決に取り組む複合 PBL 科目群

【コミュニケーション力】

グローバル化する国内外の地域で活躍するために必要な語学力を育成し、国際社会における課題を理解する視点を深める語学国際科目群、相互対話によって主体的に問題に取り組み自らの見解を他者に合理的に発信できる複合 PBL 科目群

【多様な人々と協働する力】

豊かな人間性をもって地域で活躍するために必要な課題発見力と多様な人々との協働性を養成する社会連携科目群

【学部教育科目】

学部教育科目では、工芸工業デザイン学科に関する専門的な知識・技能を学び、それらを活用するために必要な実践的な能力を養うための科目群を編成しています。

【専門的知識・技能１】

工芸デザインや工業デザインの専門家として必要な基本的な造形理論、それらのデザインに関わる歴史や文化等の基礎知識と技能を養成する講義科目を中心とした学部基礎科目群

【専門的知識・技能２】

工芸デザインや工業デザインの専門家として、企業や地域・社会の活動に必要な様々な造形技能、それらを統合するデザイン表現力を養成する学科専門科目群

【倫理観】

工芸工業デザインの専門家として求められる倫理性や環境のあり方など社会の規範についての知識理解力と姿勢を養う知的財産権等の学部基礎科目および、ユーザビリティ等の学科専門科目群、並びにプロダクトデザイン論、テキスタイルデザイン論、セラミ

ックデザイン論等のプロダクトデザイン専門/テキスタイルデザイン専門/セラミックデザイン専門科目

【論理的思考力・判断力・実践力】

工芸工業デザイン分野の専門性を基盤に、様々な課題を論理的に処理する力、社会的な課題や素材・技術の開発・研究に対応できる判断力・実践力を養成する学科専門科目群並びに修得した工芸工業デザイン分野の専門性を活用し、プロダクト、テキスタイル、セラミックの各専門において造形表現を活かして主体的に課題解決できる判断力・実践力を養成するプロダクトデザイン専門/テキスタイルデザイン専門/セラミックデザイン専門科目群

【課題発見・解決力】【主体性】【コミュニケーション力】【多様な人々と協働する力】

工芸工業デザイン分野の専門知識と造形能力、特にプロダクト、テキスタイル、セラミックの各専門の高度な専門性を活かして、研究対象に関する知識を積極的に吸収し、地域や社会に関わる課題発見、主体的・計画的に解決する力や他者との関わりの中で工芸工業デザインを行うために必要な自己管理能力をもって多様な人々と協働する力を修得する工芸工業デザインキャリア科目群

特に、「卒業研究」では体系的に修得した専門知識や技能を基礎として、デザイン表現や図面・模型などを含め、自の見解を他者に合理的に発信できるコミュニケーション力や発見した課題を自ら解決に導くためのデザイン計画・遂行能力を養う。

2.3　卒業要件と履修方法

(1) 卒業要件

卒業要件単位数は次表のとおりである。

	必修科目	選択科目	計
共通教育科目	20 単位	12 単位	32 単位
学部教育科目	36 単位	56 単位	92 単位
計	56 単位	68 単位	124 単位

(2) 卒業研究の履修要件

4年次に開講される卒業研究を履修するには、次の3項目の条件を全て充足しなければならない。

・卒業要件単位数124単位のうち、100単位以上を修得済みであること。

・3年次までに開講されている学部教育科目のうち、全ての必修科目が修得済みであること。

・「プロダクトデザイン専門/テキスタイルデザイン専門/セラミックデザイン専門」科目群の何れか全ての単位を修得済みであること。

(3) 他学部・他学科開講科目の取り扱い

ビジュアルデザイン学科及び建築学科開講の学部教育科目の単位を修得した場合、6単位を超えない範囲で、修得単位を「学部基礎科目」の選択科目の単位として取り扱う。保健福祉学部および情報工学部開講の学部教育科目は自由科目として取り扱う。

(4)先修科目の設定

「プロダクトデザイン専門/テキスタイルデザイン専門/セラミックデザイン専門」科目群に、先修条件を設定する科目を設けている。

先修条件が設定されている科目を履修するには、当該科目において指定された別の科目が全て修得済みでなければならない。（別表を参照）

(5)「プロダクトデザイン専門/テキスタイルデザイン専門/セラミックデザイン専門」科目群の選択

２年次からは、学科専門科目における「プロダクトデザイン専門/テキスタイルデザイン専門/セラミックデザイン専門」科目群の何れかを選択し、選択した科目群で開講されている全ての科目を修得しなければならない。

科目群選択に際し、1年次後期に、３つの専門科目群に対する説明会を実施予定。科目群毎の定員は設けていないが、必要に応じて２年次の履修登録前に学科より指導が行われる。

［別表：先修条件設定科目と先修条件］

先修条件設定科目	学年	開講期	先修条件
プロダクトデザイン演習Ⅱ	2	後期	プロダクトデザイン論
			プロダクトデザイン演習Ⅰ
プロダクトデザイン演習Ⅲ	3	前期	UXデザイン論
			プロダクトデザイン演習Ⅱ
プロダクトデザイン演習Ⅳ	3	後期	プロダクトデザイン演習Ⅲ
テキスタイルデザイン演習Ⅱ	2	後期	テキスタイルデザイン論
			テキスタイルデザイン演習Ⅰ
テキスタイルデザイン演習Ⅲ	3	前期	テキスタイルデザイン演習Ⅱ
テキスタイルデザイン演習Ⅳ	3	後期	テキスタイルデザイン演習Ⅲ
セラミックデザイン演習Ⅱ	2	後期	セラミックデザイン論
			セラミックデザイン演習Ⅰ
セラミックデザイン演習Ⅲ	3	前期	セラミックデザイン演習Ⅱ
セラミックデザイン演習Ⅳ	3	後期	セラミックデザイン演習Ⅲ

＊先修条件設定科目を履修するには、先修条件で指定された科目の単位を全て修得していなければならない。

2.4 授業科目

授業科目の名称		授業の方法	担当教員	開講年次および必修選択の別				開講時間数	開講単位数	卒業要件単位数
				1	2	3	4			
学部基礎科目	デザイン史	講義	河合	◎				30	2	学部基礎科目・学科専門科目・工芸工業デザインキャリア科目から９２単位以上
	日本デザイン論	講義	※ 吉原	○				30	2	
	おかやまのデザイン	講義	南川・※未定	◎				30	2	
	造形文化論Ⅰ	講義	未定		○			30	2	
	造形文化論Ⅱ	講義	河合		○			30	2	
	色彩学	講義	髙橋	◎				30	2	
	視覚心理学	講義	※ 栗川		○			30	2	
	文章表現技法	講義	柴田			○		30	2	
	知的財産権	講義	※ 平野			○		30	2	
	身体表象論	講義	※ 川野		○			30	2	
	インテリア概論	講義	岡北		○			30	2	
	空間デザイン論	講義	福濱		○			30	2	
	照明デザイン	講義	※ 藤原		○			30	2	
	人間工学	講義	舩山		○			30	2	
	マーケティング	講義	髙橋		○			30	2	
	デザインマネジメント	講義	※ 嘉数			○		30	2	
	地域とデザイン	講義	※ 印南		○			30	2	
	展示計画	演習	北山・島田			○		30	2	
	アートプロデュース論	講義	※ 佐藤			○		15	1	
	国際交流	演習	真世土・西川			○		30	2	
	地域デザイン演習	演習	※ 未定		○			30	2	
学科専門科目	デザイン技能演習ａ	演習	三原・中原	◎				30	2	
	デザイン技能演習ｂ	演習	南川・※川月	◎				30	2	
	デザイン技能演習ｃ	演習	舩山・※石田	◎				30	2	
	デザイン技能演習ｄ	演習	村木・中原	◎				30	2	
	写真演習	演習	※ 未定	◎				30	1	
	デッサン	演習	渡邉	○				30	1	
	立体描写	演習	舩山	◎				30	1	
	レンダリング	演習	村木	◎				30	1	
	ＤＴＰ演習Ⅰ	演習	※ 谷	◎				30	1	
	ＤＴＰ演習Ⅱ	演習	尾崎	◎				30	1	
	製図	演習	村木・中原	◎				30	1	
	基礎デザイン演習ａ	演習	渡邉・島田	◎				30	2	
	基礎デザイン演習ｂ	演習	真世土・作元	◎				30	2	
	デザインプランニング	演習	石		○			30	2	
	ＣＡＤ演習Ⅰ	演習	三原		○			30	2	
	ＣＡＤ演習Ⅱ	演習	三原		○			30	2	
	モビリティデザイン	演習	※ 田口・三原		○			30	2	
	情報デザイン演習	演習	尾崎		○			30	2	
	ＵＸデザイン演習ａ	演習	※ 五島		○			30	2	
	色染演習ａ	演習	島田		○			30	2	
	色染演習ｂ	演習	渡邉		○			30	2	
	ファッションデザイン演習	演習	※ 山口		○			30	2	
	現代彫刻演習	演習	※ 未定		○			30	2	
	窯芸化学	演習	※ 吉村		○			30	2	
	造形材料演習	演習	渡邉・南川・作元		○			30	2	
	家具設計	演習	南川		○			30	2	
	ユーザビリティ	演習	未定		○			30	2	
	ポートフォリオ	演習	石			○		30	2	
	デザイン分析	演習	三原			○		30	2	
	ＵＸデザイン演習ｂ	演習	※ 未定			○		30	2	

授業科目の名称			授業の方法	担当教員	開講年次および必修選択の別				開講時間数	開講単位数	卒業要件単位数
					1	2	3	4			
学科専門科目	プロダクトデザイン専門科目	プロダクトデザイン論	講義	村木		○			30	2	
		ＵＸデザイン論	講義	石		○			30	2	
		プロダクトデザイン演習Ⅰ	演習	村木・舩山		○			60	4	
		プロダクトデザイン演習Ⅱ	演習	三原・南川		□			60	4	
		プロダクトデザイン演習Ⅲ	演習	舩山・石			□		60	4	
		プロダクトデザイン演習Ⅳ	演習	尾崎・中原			□		60	4	
	テキスタイルデザイン専門科目	テキスタイルデザイン論	講義	渡邉・島田		○			30	2	
		テキスタイルデザイン演習Ⅰ	演習	渡邉		○			60	4	
		テキスタイルデザイン演習Ⅱ	演習	島田		□			60	4	
		テキスタイルデザイン演習Ⅲ	演習	島田			□		60	4	
		テキスタイルデザイン演習Ⅳ	演習	渡邉・島田			□		60	4	
	セラミックデザイン専門科目	セラミックデザイン論	講義	真世土・作元		○			30	2	
		セラミックデザイン演習Ⅰ	演習	作元		○			60	4	
		セラミックデザイン演習Ⅱ	演習	真世土		□			60	4	
		セラミックデザイン演習Ⅲ	演習	真世土・作元			□		60	4	
		セラミックデザイン演習Ⅳ	演習	真世土・作元			□		60	4	
工芸工業デザインキャリア科目		プロジェクト演習	演習	三原・渡邉・真世土・他			○		30	2	
		インターンシップ	演習	三原・他			○		30	2	
		工芸工業デザインゼミナールⅠ	演習	学科全教員			◎		30	2	
		工芸工業デザインゼミナールⅡ	演習	学科全教員			◎		30	2	
		環境デザイン演習	演習	原田				○	30	2	
		未来型プロジェクト〈森と木〉	演習	南川・向山				○	120	4	
		卒業研究	演習	学科全教員				◎	120	8	

注）

「◎」印は学科必修科目、「○」印は学科選択科目、「□」印は学科選択科目で先修条件が設定されている科目

＊先修条件が設定されている科目を履修するには、当該授業において指定された別の授業の単位を全て修得済みでなければならない。

学部教育科目の卒業要件単位数は９２単位、卒業要件単位数は１２４単位（共通教育科目３２単位を含む）

学科専門科目では、プロダクトデザイン専門科目・テキスタイルデザイン専門科目・セラミックデザイン専門科目の何れか全てを修得しなければならない。

学科全教員担当科目は学科所属の教授・准教授・講師・助教を担当教員とする。また、科目により助手が授業補助にあたる場合がある。

※は非常勤講師

担当教員は変更になる場合がある。

2.5 科目ナンバリング

カテゴリー		授業科目の名称	科目ナンバリング	分野１（略称と英語名称）		分野２（略称と英語名称）	
				略称	英語名称	略称	英語名称
学部基礎科目		デザイン史	DGS_HDS-E0-1R-L0	DGS	General Science of Design	HDS	History of Design
		日本デザイン論	DGS_JPD-E0-1E-L0	DGS		JPD	Japanese Design
		おかやまのデザイン	DGS_OKD-E0-1R-L0	DGS		OKD	Okayama Design
		造形文化論Ⅰ	DGS_AES-E0-2E-L0	DGS		AES	Aesthetics
		造形文化論Ⅱ	DGS_IMS-E0-2E-L0	DGS		IMS	Image Studies
		色彩学	DGS_SCL-E0-1R-L0	DGS		SCL	Science of Color
		視覚心理学	DGS_PSY-E0-2E-L0	DGS		PSY	Psychology of Visual Perception
		文章表現技法	DGS_WRT-E0-3E-L0	DGS		WRT	Writing Skills
		知的財産権	DGS_IPR-E0-3E-L0	DGS		IPR	Intellectual Property Rights
		身体表象論	DGS_BDR-E0-2E-L0	DGS		BDR	Bodily Representation Theories
		インテリア概論	DGS_ITD-E0-2E-L0	DGS		ITD	Interior Desing
		空間デザイン論	DGS_SPD-E0-2E-L0	DGS		SPD	Spatial Design
		照明デザイン	DGS_LTD-E0-2E-L0	DGS		LTD	Lighting Design
		人間工学	DGS_ERG-E0-2E-L0	DGS		ERG	Ergonomics
		マーケティング	DGS_MKT-E0-2E-L0	DGS		MKT	Marketing
		デザインマネジメント	DGS_DMG-E0-3E-L0	DGS		DMG	Design Management
		地域とデザイン	DGS_DCM-E0-2E-L0	DGS		DCM	Design and Community
		展示計画	DGS_ISP-E0-3E-L0	DGS		ISP	Installation Planning
		アートプロデュース論	DGS_APP-E0-3E-L0	DGS		APP	Art Project Planning
		国際交流	DGS_IDS-E0-3E-S0	DGS		IDS	International Design Studies
		地域デザイン演習	DGS_DPC-E0-2E-S0	DGS		DPC	Design Practice in Communities
学科専門科目		デザイン技能演習ａ	DCI_MDA-E6-1R-S0	DCI	Craft and Industrial Design	MDA	Modeling a
		デザイン技能演習ｂ	DCI_MDB-E6-1R-S0	DCI		MDB	Modeling b
		デザイン技能演習ｃ	DCI_MDC-E6-1R-S0	DCI		MDC	Modeling c
		デザイン技能演習ｄ	DCI_MDD-E6-1R-S0	DCI		MDD	Modeling d
		写真演習	DCI_PHT-E6-1R-S0	DCI		PHT	Photography
		デッサン	DCI_DRW-E6-1E-S0	DCI		DRW	Drawing
		立体描写	DCI_3DD-E6-1R-S0	DCI		3DD	3D Drawing
		レンダリング	DCI_RND-E6-1R-S0	DCI		RND	Rendering
		ＤＴＰ演習Ⅰ	DCI_DT1-E6-1R-S0	DCI		DT1	DTPⅠ
		ＤＴＰ演習Ⅱ	DCI_DT2-E6-1R-S0	DCI		DT2	DTPⅡ
		製図	DCI_DRF-E6-1R-S0	DCI		DRF	Drafting
		基礎デザイン演習ａ	DCI_IDA-E6-1R-S0	DCI		IDA	Introduction to Design a
		基礎デザイン演習ｂ	DCI_IDB-E6-1R-S0	DCI		IDB	Introduction to Design b
		デザインプランニング	DCI_DPL-E6-2E-S0	DCI		DPL	Design and Planning
		ＣＡＤ演習Ⅰ	DCI_CA1-E6-2E-S0	DCI		CA1	CADⅠ
		ＣＡＤ演習Ⅱ	DCI_CA2-E6-2E-S0	DCI		CA2	CADⅡ
		モビリティデザイン	DCI_MOB-E6-2E-S0	DCI		MOB	Mobility Design
		情報デザイン演習	DCI_IND-E6-2E-S0	DCI		IND	Information Design
		ＵＸデザイン演習ａ	DCI_UXA-E6-2E-S0	DCI		UXA	UX Design Practice a
		色染演習ａ	DCI_DYA-E6-2E-S0	DCI		DYA	Dyeing a
		色染演習ｂ	DCI_DYB-E6-2E-S0	DCI		DYB	Dyeing b
		ファッションデザイン演習	DCI_FSD-E6-2E-S0	DCI		FSD	Fashion Design
		現代彫刻演習	DCI_MDS-E6-2E-S0	DCI		MDS	Modern Sculpture
		窯芸化学	DCI_CCH-E6-2E-S0	DCI		CCH	Ceramic Chemistry
		造形材料演習	DCI_MFA-E6-2E-S0	DCI		MFA	Materials for formative arts
		家具設計	DCI_FUR-E6-2E-S0	DCI		FUR	Furniture Design
		ユーザビリティ	DCI_USB-E6-2E-S0	DCI		USB	Usability
		ポートフォリオ	DCI_POR-E6-3E-S0	DCI		POR	Portforio
		デザイン分析	DCI_DAN-E6-3E-S0	DCI		DAN	Design Analysis
		ＵＸデザイン演習ｂ	DCI_UXB-E6-3E-S0	DCI		UXB	UX Design Practice b
	プロダクトデザイン専門科目	プロダクトデザイン論	DPD_PRD-E6-2E-L0	DPD	Product Design	PRD	Product Design
		ＵＸデザイン論	DPD_UXD-E6-2E-L0	DPD		UXD	UX Design
		プロダクトデザイン演習Ⅰ	DPD_PD1-E6-2E-S0	DPD		PD1	Product Design PracticeⅠ
		プロダクトデザイン演習Ⅱ	DPD_PD2-E6-2E-S0	DPD		PD2	Product Design PracticeⅡ
		プロダクトデザイン演習Ⅲ	DPD_PD3-E6-3E-S0	DPD		PD3	Product Design PracticeⅢ
		プロダクトデザイン演習Ⅳ	DPD_PD4-E6-3E-S0	DPD		PD4	Product Design PracticeⅣ
	テキスタイルデザイン専門科目	テキスタイルデザイン論	DTD_TED-E6-2E-L0	DTD	Textile Design	TED	Textile Design
		テキスタイルデザイン演習Ⅰ	DTD_TD1-E6-2E-S0	DTD		TD1	Textile Design PracticeⅠ
		テキスタイルデザイン演習Ⅱ	DTD_TD2-E6-2E-S0	DTD		TD2	Textile Design PracticeⅡ
		テキスタイルデザイン演習Ⅲ	DTD_TD3-E6-3E-S0	DTD		TD3	Textile Design PracticeⅢ
		テキスタイルデザイン演習Ⅳ	DTD_TD4-E6-3E-S0	DTD		TD4	Textile Design PracticeⅣ
	セラミックデザイン専門科目	セラミックデザイン論	DCD_CED-E6-2E-L0	DCD	Ceramic Design	CED	Ceramic Design
		セラミックデザイン演習Ⅰ	DCD_CD1-E6-2E-S0	DCD		CD1	Ceramic Design PracticeⅠ
		セラミックデザイン演習Ⅱ	DCD_CD2-E6-2E-S0	DCD		CD2	Ceramic Design PracticeⅡ
		セラミックデザイン演習Ⅲ	DCD_CD3-E6-3E-S0	DCD		CD3	Ceramic Design PracticeⅢ
		セラミックデザイン演習Ⅳ	DCD_CD4-E6-3E-S0	DCD		CD4	Ceramic Design PracticeⅣ
工芸工業デザインキャリア科目		プロジェクト演習	DCC_PBP-E6-3E-S0	DCC	Career Development in Craft and Industrial Design	PBP	Project - based Practice
		インターンシップ	DCC_INT-E6-3E-S0	DCC		INT	Internship
		工芸工業デザインゼミナールⅠ	DCC_SE1-E6-3R-S0	DCC		SE1	Craft and Industrial Design SeminarⅠ
		工芸工業デザインゼミナールⅡ	DCC_SE2-E6-3R-S0	DCC		SE2	Craft and Industrial Design SeminarⅡ
		環境デザイン演習	DCC_EVD-E6-4E-S0	DCC		EVD	Exercises in Environmental Design
		未来型プロジェクト〈森と木〉	DCC_FOP-E6-4E-S0	DCC		FOP	Future-oriented Project〈Forest and Wood〉
		卒業研究	DCC_GRP-E6-4R-S0	DCC		GRP	Graduation Project

2.6 カリキュラムマップ

	授業科目の名称	学位授与の方針に対する関与の程度 ◎:各方針と関係が深い科目 ○:各方針と関係する科目							
		A	B	C-1	C-2	D	E	F	G
学部基礎科目	デザイン史			◎					
	日本デザイン論			◎					
	おかやまのデザイン	◎							
	造形文化論Ⅰ			◎					
	造形文化論Ⅱ			◎					
	色彩学			◎					
	視覚心理学			◎					
	文章表現技法			◎					
	知的財産権		○	◎					
	身体表象論			◎					
	インテリア概論			◎					
	空間デザイン論			◎					
	照明デザイン			◎					
	人間工学			◎					
	マーケティング			◎					
	デザインマネジメント			◎					
	地域とデザイン			◎					
	展示計画			◎					
	アートプロデュース論			◎					
	国際交流			◎					
	地域デザイン演習			◎					
学科専門科目	デザイン技能演習 a				◎				
	デザイン技能演習 b				◎				
	デザイン技能演習 c				◎				
	デザイン技能演習 d				◎				
	写真演習				◎				
	デッサン				◎				
	立体描写				◎				
	レンダリング				◎				
	ＤＴＰ演習Ⅰ				◎				
	ＤＴＰ演習Ⅱ				◎				
	製図				◎				
	基礎デザイン演習 a				◎				
	基礎デザイン演習 b				◎				
	デザインプランニング				◎				
	ＣＡＤ演習Ⅰ				◎				
	ＣＡＤ演習Ⅱ				◎				
	モビリティデザイン				◎				
	情報デザイン演習				◎				
	ＵＸデザイン演習 a				◎				
	色染演習 a				◎				
	色染演習 b				◎				
	ファッションデザイン演習				◎				
	現代彫刻演習				◎				
	窯芸化学				◎				
	造形材料演習				◎				
	家具設計				◎				
	ユーザビリティ		○		◎				
	ポートフォリオ				◎				
	デザイン分析				◎				
	ＵＸデザイン演習 b				◎				
プロダクトデザイン専門科目	プロダクトデザイン論		○		◎				
	ＵＸデザイン論				◎	○			
	プロダクトデザイン演習Ⅰ				○	◎			
	プロダクトデザイン演習Ⅱ				○	◎			
	プロダクトデザイン演習Ⅲ				○	◎			
	プロダクトデザイン演習Ⅳ				○	◎			
テキスタイルデザイン専門科目	テキスタイルデザイン論		○		◎				
	テキスタイルデザイン演習Ⅰ				○	◎			
	テキスタイルデザイン演習Ⅱ				○	◎			
	テキスタイルデザイン演習Ⅲ				○	◎			
	テキスタイルデザイン演習Ⅳ				○	◎			
セラミックデザイン専門科目	セラミックデザイン論		○		◎				
	セラミックデザイン演習Ⅰ				○	◎			
	セラミックデザイン演習Ⅱ				○	◎			
	セラミックデザイン演習Ⅲ				○	◎			
	セラミックデザイン演習Ⅳ				○	◎			
工芸工業デザインキャリア科目	プロジェクト演習						◎		○
	インターンシップ						◎		○
	工芸工業デザインゼミナールⅠ						◎		○
	工芸工業デザインゼミナールⅡ						◎		○
	環境デザイン演習								○
	未来型プロジェクト〈森と木〉								○
	卒業研究						◎	○	

工芸工業デザイン学科　学位授与の方針

工芸工業デザイン学科では、立体的な造形教育の知識・技能を基盤に、工芸的で緻密なデザイン制作と工業的で合理的なデザイン開発に関わる幅広い知識と技能を学び、産業界や地域社会で活躍でき、また社会の持続的発展に貢献できる人材の育成を目指しています。

卒業要件を満たすことにより、次の能力や態度・意欲を身に付けた者に学位を授与します。

A　【人間・社会・自然の理解】

人文科学、社会科学、自然科学、健康科学の知識を通して、人間・社会・自然を理解する力を身に付けている。

B　【倫理観】

工芸工業デザインの専門家として求められる倫理性や環境のあり方など社会の規範についての倫理観と豊かな人間性を身に付けている。

C-1【専門的知識・技能１】

工芸デザインや工業デザインの専門家として必要な基本的な造形理論、プロダクト、テキスタイル、セラミックにおけるデザインに関わる歴史や文化等の基礎知識と技能を身に付けている。

C-2【専門的知識・技能2】

工芸デザインや工業デザインの専門家として、企業や地域・社会で活躍できる造形技能、それらを統合するデザイナーとしての表現力を身に付けている。

D　【論理的思考力・判断力・実践力】

工芸デザインや工業デザインの専門性を活かして、プロダクト、テキスタイル、セラミックの各専門分野を活かして地域・社会の要請に対して、主体的にデザインすることができる思考力、判断力・実践力を身に付けている。

E　【課題発見・解決力】【主体性】

工芸工業デザイン分野の専門的な造形能力を活かし、社会の課題や新しい素材・造形技術に積極的に対応し、総合的に造形できる判断力・実践力、これらを継続的に学習、吸収する意欲を身に付けている。

F　【コミュニケーション力】

工芸工業デザイン分野における表現伝達力、口頭発表力、討議能力、企画提案力、特にデザイン表現や図面・模型などを含めたコミュニケーション能力と、デザインに関連した地域の課題、また国際社会における課題を理解する視点を身に付けている。

G　【多様な人々と協働する力】

地域社会や国際社会において他者との関わりの中で工芸工業デザインを行うために必要な自己管理能力をもって多様な人々と協調・協働する姿勢を身に付けている。

2.7 カリキュラムツリー

DP	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期
修学基礎	大学で学ぶ フレッシュマンセミナー							
A	人文・社会科学要論 自然科学要論 健康科学要論	芸術学						
	「人文・社会科学」カテゴリー科目							
	「自然科学」カテゴリー科目							
	「健康科学」カテゴリー科目							
	「複合PBL科目」カテゴリー科目							
		おかやまのデザイン						
B			プロダクトデザイン論 テキスタイルデザイン論 セラミックデザイン論	ユーザビリティ	知的財産権			
C-1	デザイン史 色彩学	日本デザイン論	造形文化論I 視覚心理学 身体表象論 インテリア概論 空間デザイン論 照明デザイン 人間工学 地域デザイン演習	造形文化論II マーケティング 地域とデザイン	知的財産権 デザインマネジメント 展示計画 アートプロデュース論 国際交流	文章表現技法		
C-2	デザイン技能演習a デザイン技能演習b 写真演習 デッサン 立体描写 DTP演習Ⅰ 製図 基礎デザイン演習a	デザイン技能演習c デザイン技能演習d レンダリング DTP演習Ⅱ 基礎デザイン演習b	デザインプランニング CAD演習Ⅰ UXデザイン演習a 色染演習a 色染演習b 現代彫刻演習 家具設計 プロダクトデザイン論 プロダクトデザイン演習Ⅰ テキスタイルデザイン論 テキスタイルデザイン演習Ⅰ セラミックデザイン論 セラミックデザイン演習Ⅰ	CAD演習Ⅱ モビリティデザイン 情報デザイン演習 ファッションデザイン演習 窯芸化学 造形材料演習 ユーザビリティ UXデザイン論 プロダクトデザイン演習Ⅱ テキスタイルデザイン演習Ⅱ セラミックデザイン演習Ⅱ	ポートフォリオ デザイン分析 プロダクトデザイン演習Ⅲ テキスタイルデザイン演習Ⅲ セラミックデザイン演習Ⅲ	UXデザイン演習b プロダクトデザイン演習Ⅳ テキスタイルデザイン演習Ⅳ セラミックデザイン演習Ⅳ		
D			プロダクトデザイン演習Ⅰ テキスタイルデザイン演習Ⅰ セラミックデザイン演習Ⅰ	UXデザイン論 プロダクトデザイン演習Ⅱ テキスタイルデザイン演習Ⅱ セラミックデザイン演習Ⅱ	プロダクトデザイン演習Ⅲ テキスタイルデザイン演習Ⅲ セラミックデザイン演習Ⅲ	プロダクトデザイン演習Ⅳ テキスタイルデザイン演習Ⅳ セラミックデザイン演習Ⅳ		
E					プロジェクト演習 インターンシップ 工芸工業デザインゼミナールⅠ	工芸工業デザインゼミナールⅡ	卒業研究	
F	語学国際要論 ELP1 ELP2	ELP3 ELP4	ELP5	ELP6			卒業研究	
	「語学国際」カテゴリー科目							
	「複合PBL科目」カテゴリー科目							
G	社会連携要論	地域資源学						
	「社会連携」カテゴリー科目							
					プロジェクト演習 インターンシップ 工芸工業デザインゼミナールⅠ	工芸工業デザインゼミナールⅡ	環境デザイン演習 未来型プロジェクト〈森と木〉	

2.8　履修モデル

①プロダクトデザイナーをめざす場合　（◎：必修、 ○：選択必修、 無印：選択）

プロダクトデザイナーは、主に製品のハードウエアを担当するデザイナーであり、意匠デザインのみならず設計や製造、マーケティングやユーザビリティ評価など幅広い知識と技能が求められます。デザインの検討と伝達を行うための基礎技能であるレンダリングやモデリング、製図やＣＡＤの技能を身につけながら、人間工学や知的財産権など幅広い知識を身につけましょう。プロダクトデザインを実践する科目がプロダクトデザイン演習 Ⅰ～Ⅳであり、製品のモノ的価値創造からコト的価値創造へとステップアップしていきます。

共通教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ＥＬＰ５	1	全カテゴリーから	3		
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ＥＬＰ６	1				
◎人文・社会科学要論	2	人文・社会科学カテゴリーから	2				
◎芸術学	2	自然科学カテゴリーから	2				
◎自然科学要論	2	健康科学カテゴリーから	2				
◎健康科学要論	2	語学国際カテゴリーから	2				
◎語学国際要論	2	複合ＰＢＬ科目カテゴリーから	1				
◎ＥＬＰ１	1						
◎ＥＬＰ２	1						
◎ＥＬＰ３	1						
◎ＥＬＰ４	1						
◎社会連携要論	1						
◎地域資源学	1						
小計	１８	小計	１１	小計	３	小計	

備考
・人文・社会科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・自然科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・健康科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・語学国際カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・複合ＰＢＬ科目カテゴリーから選択科目１単位を修得すること。
・全カテゴリーから選択科目３単位を修得すること。

学部教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎デザイン史	2	視覚心理学	2	知的財産権	2	◎ 卒 業	8
◎おかやまのデザイン	2	照明デザイン	2	ポートフォリオ	2	研究	
◎色彩学	2	人間工学	2	デザイン分析	2		
日本デザイン論	2	マーケティング	2	○プロダクトデザイン演習Ⅲ	4		
◎デザイン技能演習ａ	2	デザインプランニング	2	○プロダクトデザイン演習Ⅳ	4		
◎デザイン技能演習ｂ	2	ＣＡＤ演習Ⅰ	2	プロジェクト演習	2		
◎デザイン技能演習ｃ	2	ＣＡＤ演習Ⅱ	2	インターンシップ	2		
◎デザイン技能演習ｄ	2	モビリティデザイン	2	◎工芸工業デザインゼミナールⅠ	2		
◎写真演習	1	情報デザイン演習	2	◎工芸工業デザインゼミナールⅡ	2		
◎立体描写	1	造形材料演習	2				
◎レンダリング	1	家具設計	2				
◎ＤＴＰ演習Ⅰ	1	ユーザビリティ	2				
◎ＤＴＰ演習Ⅱ	1	○プロダクトデザイン論	2				
◎製図	1	○ＵＸデザイン論	2				
◎基礎デザイン演習ａ	2	○プロダクトデザイン演習Ⅰ	4				
◎基礎デザイン演習ｂ	2	○プロダクトデザイン演習Ⅱ	4				
小計	２６	小計	３６	小計	２２	小計	8

履修上の注意
3年次修了までに、次の3項目の全てを満たすこと。
・卒業要件単位数124単位のうち、100単位以上を修得済みであること。
・3年次までに開講される学部教育科目のうち、必修の単位を全て修得済みであること。
・「プロダクトデザイン専門/テキスタイルデザイン専門/セラミックデザイン専門」科目群の何れか全ての単位を修得済みであること。

②情報デザイナーをめざす場合　（◎：必修、 ○：選択必修、 無印：選択）

情報デザイナーは、製品やサービスにまつわる情報を担当するデザイナーであり、画面デザインのみならず印刷物やＷｅｂ、サービス設計など、顧客体験全般を統合する技能が求められます。デザインの検討と伝達を行うための基礎技能であるドローイングやＤＴＰの技能を身につけながら、デザインプランニングやＵＸデザインなど幅広い知識を身につけましょう。情報デザインを実践する科目がプロダクトデザイン演習Ⅰ～Ⅳや情報デザイン演習であり、製品のモノ的価値創造からコト的価値創造へとステップアップしていきます。

共通教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ＥＬＰ５	1	全カテゴリーから	3		
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ＥＬＰ６	1				
◎人文・社会科学要論	2	人文・社会科学カテゴリーから	2				
◎芸術学	2	自然科学カテゴリーから	2				
◎自然科学要論	2	健康科学カテゴリーから	2				
◎健康科学要論	2	語学国際カテゴリーから	2				
◎語学国際要論	2	複合ＰＢＬ科目カテゴリーから	1				
◎ＥＬＰ１	1						
◎ＥＬＰ２	1						
◎ＥＬＰ３	1						
◎ＥＬＰ４	1						
◎社会連携要論	1						
◎地域資源学	1						
小計	１８	小計	１１	小計	３	小計	

備考
・人文・社会科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・自然科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・健康科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・語学国際カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・複合ＰＢＬ科目カテゴリーから選択科目１単位を修得すること。
・全カテゴリーから選択科目３単位を修得すること。

学部教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎デザイン史	2	視覚心理学	2	知的財産権	2	◎卒業研究	8
◎おかやまのデザイン	2	照明デザイン	2	ポートフォリオ	2		
◎色彩学	2	人間工学	2	デザイン分析	2		
日本デザイン論	2	マーケティング	2	ＵＸデザイン演習ｂ	2		
◎デザイン技能演習ａ	2	デザインプランニング	2	○プロダクトデザイン演習Ⅲ	4		
◎デザイン技能演習ｂ	2	ＣＡＤ演習Ⅰ	2	○プロダクトデザイン演習Ⅳ	4		
◎デザイン技能演習ｃ	2	ＣＡＤ演習Ⅱ	2	プロジェクト演習	2		
◎デザイン技能演習ｄ	2	モビリティデザイン	2	インターンシップ	2		
◎写真演習	1	情報デザイン演習	2	◎工芸工業デザインゼミナールⅠ	2		
◎立体描写	1	ＵＸデザイン演習ａ	2	◎工芸工業デザインゼミナールⅡ	2		
◎レンダリング	1	ユーザビリティ	2				
◎ＤＴＰ演習Ⅰ	1	○プロダクトデザイン論	2				
◎ＤＴＰ演習Ⅱ	1	○ＵＸデザイン論	2				
◎製図	1	○プロダクトデザイン演習Ⅰ	4				
◎基礎デザイン演習ａ	2	○プロダクトデザイン演習Ⅱ	4				
◎基礎デザイン演習ｂ	2						
小計	２６	小計	３４	小計	２４	小計	8

履修上の注意
3年次修了までに、次の3項目の全てを満たすこと。
・卒業要件単位数124単位のうち、100単位以上を修得済みであること。
・3年次までに開講される学部教育科目のうち、必修の単位を全て修得済みであること。
・「プロダクトデザイン専門/テキスタイルデザイン専門/セラミックデザイン専門」科目群の何れか全ての単位を修得済みであること。

③　テキスタイルデザイナーをめざす場合　（◎：必修、 ○：選択必修、 無印：選択）

テキスタイルデザイナーは、身近な衣服や雑貨から空間に関連するデザイン、さらにデザインの枠を超えた造形表現までその範囲は広く、文化や産業に関する幅広い知識と技能が求められます。デザインの検討と伝達を行うための基礎技能であるドローイングやＤＴＰの技能を身につけながら、身体表象論や展示計画など専門的な知識や計画性を身につけましょう。テキスタイルデザインを実践する科目がテキスタイルデザイン演習Ⅰ～Ⅳであり、素材・技術・造形表現を修得しながら、独創性や発想力を展開させ、社会に提案する能力を培ってゆきます。

共通教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ＥＬＰ５	1	全カテゴリーから	3		
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ＥＬＰ６	1				
◎人文・社会科学要論	2	人文・社会科学カテゴリーから	2				
◎芸術学	2	自然科学カテゴリーから	2				
◎自然科学要論	2	健康科学カテゴリーから	2				
◎健康科学要論	2	語学国際カテゴリーから	2				
◎語学国際要論	2	複合ＰＢＬ科目カテゴリーから	1				
◎ＥＬＰ１	1						
◎ＥＬＰ２	1						
◎ＥＬＰ３	1						
◎ＥＬＰ４	1						
◎社会連携要論	1						
◎地域資源学	1						
小計	１８	小計	１１	小計	３	小計	

備考
・人文・社会科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・自然科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・健康科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・語学国際カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・複合ＰＢＬ科目カテゴリーから選択科目１単位を修得すること。
・全カテゴリーから選択科目３単位を修得すること。

学部教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎デザイン史	2	造形文化論Ⅰ	2	知的財産権	2	◎卒業研究	8
◎おかやまのデザイン	2	造形文化論Ⅱ	2	展示計画	2		
◎色彩学	2	視覚心理学	2	アートプロデュース論	1		
日本デザイン論	2	身体表象論	2	ポートフォリオ	2		
◎デザイン技能演習ａ	2	インテリア概論	2	デザイン分析	2		
◎デザイン技能演習ｂ	2	空間デザイン論	2	○テキスタイルデザイン演習Ⅲ	4		
◎デザイン技能演習ｃ	2	照明デザイン	2	○テキスタイルデザイン演習Ⅳ	4		
◎デザイン技能演習ｄ	2	人間工学	2	プロジェクト演習	2		
◎写真演習	1	色染演習ａ	2	◎工芸工業デザインゼミナールⅠ	2		
デッサン	1	色染演習ｂ	2	◎工芸工業デザインゼミナールⅡ	2		
◎立体描写	1	ファッションデザイン演習	2				
◎レンダリング	1	造形材料演習	2				
◎ＤＴＰ演習Ⅰ	1	○テキスタイルデザイン論	2				
◎ＤＴＰ演習Ⅱ	1	○テキスタイルデザイン演習Ⅰ	4				
◎製図	1	○テキスタイルデザイン演習Ⅱ	4				
◎基礎デザイン演習ａ	2						
◎基礎デザイン演習ｂ	2						
小計	２７	小計	３４	小計	２３	小計	8

履修上の注意
3年次修了までに、次の3項目の全てを満たすこと。
・卒業要件単位数124単位のうち、100単位以上を修得済みであること。
・3年次までに開講される学部教育科目のうち、必修の単位を全て修得済みであること。
・「プロダクトデザイン専門/テキスタイルデザイン専門/セラミックデザイン専門」科目群の何れか全ての単位を修得済みであること。

④セラミックデザイナーをめざす場合　（◎：必修、 ○：選択必修、 無印：選択）

セラミックデザイナーは、食器やタイルなど陶磁器を中心とした住空間に関連するデザインを対象としますが、デザインという従来の枠を超えて芸術表現までその範囲は広く、文化や産業に関する幅広い知識と技能が求められます。デザインの検討と伝達を行うための基礎技能であるドローイングやＤＴＰの技能を身につけながら、窯芸化学や現代彫刻演習など専門的な知識や造形力を身につけましょう。セラミックデザインを実践する科目がセラミックデザイン演習 Ⅰ～Ⅳであり、素材・技術・造形表現を修得しながら独創性や発想力を展開させ、社会に提案する能力を培ってゆきます。

共通教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ＥＬＰ５	1	全カテゴリーから	3		
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ＥＬＰ６	1				
◎人文・社会科学要論	2	人文・社会科学カテゴリーから	2				
◎芸術学	2	自然科学カテゴリーから	2				
◎自然科学要論	2	健康科学カテゴリーから	2				
◎健康科学要論	2	語学国際カテゴリーから	2				
◎語学国際要論	2	複合ＰＢＬ科目カテゴリーから	1				
◎ＥＬＰ１	1						
◎ＥＬＰ２	1						
◎ＥＬＰ３	1						
◎ＥＬＰ４	1						
◎社会連携要論	1						
◎地域資源学	1						
小計	１８	小計	１１	小計	３	小計	

備考
・人文・社会科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・自然科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・健康科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・語学国際カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・複合ＰＢＬ科目カテゴリーから選択科目１単位を修得すること。
・全カテゴリーから選択科目３単位を修得すること。

学部教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎デザイン史	2	造形文化論Ⅰ	2	知的財産権	2	◎卒業研究	8
◎おかやまのデザイン	2	造形文化論Ⅱ	2	展示計画	2		
◎色彩学	2	視覚心理学	2	アートプロデュース論	1		
日本デザイン論	2	身体表象論	2	ポートフォリオ	2		
◎デザイン技能演習ａ	2	インテリア概論	2	デザイン分析	2		
◎デザイン技能演習ｂ	2	空間デザイン論	2	○セラミクデザイン演習Ⅲ	4		
◎デザイン技能演習ｃ	2	照明デザイン	2	○セラミクデザイン演習Ⅳ	4		
◎デザイン技能演習ｄ	2	人間工学	2	プロジェクト演習	2		
◎写真演習	1	地域とデザイン	2	◎工芸工業デザインゼミナールⅠ	2		
デッサン	1	現代彫刻演習	2	◎工芸工業デザインゼミナールⅡ	2		
◎立体描写	1	窯芸化学	2				
◎レンダリング	1	造形材料演習	2				
◎ＤＴＰ演習Ⅰ	1	○セラミクデザイン論	2				
◎ＤＴＰ演習Ⅱ	1	○セラミクデザイン演習Ⅰ	4				
◎製図	1	○セラミクデザイン演習Ⅱ	4				
◎基礎デザイン演習ａ	2						
◎基礎デザイン演習ｂ	2						
小計	２７	小計	３４	小計	２３	小計	８

履修上の注意
3年次修了までに、次の3項目の全てを満たすこと。
・卒業要件単位数124単位のうち、100単位以上を修得済みであること。
・3年次までに開講される学部教育科目のうち、必修の単位を全て修得済みであること。
・「プロダクトデザイン専門/テキスタイルデザイン専門/セラミックデザイン専門」科目群の何れか全ての単位を修得済みであること。

3 建築学科

3.1　本学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

建築学科では、建築設計を中心にインテリアから地域計画に至るまで、建築に関わる広範な知識と高度な技能を修得し、建築設計分野で国際・地域社会の持続的発展に寄与する、建築家や建築分野の専門家の育成を目指しています。

卒業要件を満たすことにより、次の能力や態度・意欲を身に付けた者に学位を授与します。

A.【人間・社会・自然の理解】

人文科学、社会科学、自然科学、健康科学の知識を通して、人間・社会・自然を理解する力を身に付けている。

B.【倫理観】

建築家や建築分野の専門家として求められる、社会的規範や環境倫理などについての倫理観と豊かな人間性を身に付けている。

C-1.【専門的知識・技能１】

デザインに関する基礎的な知識を身に付けており、それらを建築分野に活かせる力を身に付けている。

C-2.【専門的知識・技能２】

建築的表現技能や建築史、建築計画、建築構造や建築環境に関する知識を修得している。加えて、建築空間の理解力を身に付けている。

D.【論理的思考力・判断力・実践力】

建築分野の専門的知識・技能を用いて、計画に必要な条件を導き出し、建築設計をすることができる、論理的思考力、判断力、実践力を身に付けている。

E.【課題発見・解決力】【主体性】

建築分野における課題を自ら発見し、専門的な知識技能を活かした、建築の設計によって解決する力とともに、新しい知識や価値観を継続的に学習する意欲を身に付けている。

F.【コミュニケーション力】

異なる気候や歴史の建築やそれに関するデザインの学修と、外国人や社会人との交流を通じ、国際的視点とコミュニケーション力を身に付けている。

G.【多様な人々と協働する力】

地域社会や国際社会において豊かな人間性をもって多様な立場や職種の人々と協調・協働することにより、建築分野の計画を遂行できる力を身に付けている。

3.2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【基本方針】

建築学科では、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、建築に関する分野の専門的知識や哲学を基礎として、常に変化する先端的な技術や思想を自主的に学習し、新しい時代を建築で切り拓く人材の育成を目指します。

建築を通じて地域や社会の課題解決に活かすことができるよう、体系的な教育課程を以下のように編成しています。

【共通教育科目】

共通教育科目では、建築家や建築分野に関わる専門家として求められる実践的自律性を培うため、教養教育の導入、理論、実践を網羅する科目群を編成しています。

【修学基礎力】

高校の学びから大学での学びへの転換と準備のための初年次教育ならびに建築学科の専門性への学びを促す修学基礎科目群

【人間・社会・自然の理解】

人間や社会及び文化について考えるため、普遍的な理論や知識を修得し人間理解を深めるとともに、多様な社会の仕組みや歴史を修得し、そのあり方を問う論理的思考力や課題発見力を養う人文・社会科学科目群

自然現象やそれに関わる発見から普遍的な真理を探究することを通じ、論理的思考力や課題発見力などを身につける自然科学科目群

心身の健康に関する理論や知識を修得し生活する上で適切な判断を導く思考力を養うとともに、生涯にわたり健全な社会生活を送るための技能を修得する健康科学科目群

以上の学問分野において、主体的に課題を設定し、調査、考察、発表、討論を経て最終的な解決に取り組む複合 PBL 科目群

【コミュニケーション力】

グローバル化する国内外の地域で活躍するために必要な語学力を育成し、国際社会における課題を理解する視点を深める語学国際科目群、相互対話によって主体的に問題に取り組み自らの見解を他者に合理的に発信できる複合 PBL 科目群

【多様な人々と協働する力】

豊かな人間性をもって地域で活躍するために必要な課題発見力と多様な人々との協働性を養成する社会連携科目群

【学部教育科目】

学部教育科目では、建築学科に関する専門的な知識・技能を学び、それらを活用するために必要な実践的な能力を養うための科目群を編成しています。

【専門的知識・技能１】

建築家や建築分野に関わる専門家として必要な基礎知識と技能を養成する講義科目を中心とした学部基礎科目群

【専門的知識・技能２】

建築家や建築分野に関わる専門家として必要な専門知識と様々な技能並びにそれらを統合するデザイン表現力を養成する学科専門科目群

【倫理観】

建築家や建築分野に関わる専門家として求められる倫理性や環境のあり方など社会の規範についての知識理解力と姿勢を養う知的財産権等の学部基礎科目群および、建築法規等の学科専門科目群

【論理的思考力・判断力・実践力】

建築分野の専門性を基盤に、建築に関わるデザインの課題を見きわめるための論理的思

考力、課題を解決に導くための判断力、修得した建築分野の専門性を活用し、主体的に課題解決することができる実践力を養成する学科総合科目群

【課題発見・解決力】【主体性】【コミュニケーション力】【多様な人々と協働する力】

修得した建築分野の専門知識と、研究対象に関する分野の知識を応用し、地域や社会に関わる課題発見、主体的・計画的に解決する力、及び多様な人々と協働し、建築分野の計画を遂行できる力を修得するキャリア科目群

特に、「卒業研究」では体系的に修得した専門知識や技能を基礎として自ら発見した課題を解決に導くため、主体的に問題へ取り組み、自らの見解を他者に合理的に発信できるコミュニケーション力を養う。

3.3　卒業要件と履修方法

(1) 卒業要件

卒業要件単位数は下表のとおりである。

	必修科目	選択科目	計
共通教育科目	16 単位	16 単位	32 単位
学部教育科目	64 単位	28 単位	92 単位
計	80 単位	44 単位	124 単位

(2) 卒業研究の履修要件

4 年次に開講される卒業研究の履修要件は次のとおりである。

・卒業要件単位数 124 単位のうち、100 単位以上を修得済みであること。

(3) 他学部・他学科開講科目の取り扱い

ビジュアルデザイン学科、工芸工業デザイン学科開講の学部教育科目を単位修得した場合、6 単位を超えない範囲で、修得単位を「学部基礎科目」の選択科目の単位として取り扱う。保健福祉学部及び情報工学部開講の学部教育科目は自由科目として取り扱う。

3.4　資格の取得

・　一級建築士試験受験資格、二級建築士試験受験資格、木造建築士試験受験資格

表1「建築士試験受験資格に必要な指定科目単位」に示された条件を満たした者は、卒業後に受験資格を有する。

3.5 授業科目

	授業科目の名称	授業の方法	建築士科目	担当教員（※印は非常勤講師）	開講年次および必修選択の別 1	2	3	4	開講時間数	開講単位数	卒業要件単位数
学部基礎科目	デザイン史	講義		河合	◎				30	2	学部基礎科目・学科専門科目・学科総合科目・建築キャリア科目から９２単位以上
	日本デザイン論	講義		※ 吉原	○				30	2	
	おかやまのデザイン	講義		南川・※未定	○				30	2	
	造形文化論Ⅰ	講義		未定		○			30	2	
	造形文化論Ⅱ	講義		河合		○			30	2	
	色彩学	講義		髙橋	○				30	2	
	視覚心理学	講義		※ 栗川			○		30	2	
	文章表現技法	講義		柴田			○		30	2	
	知的財産権	講義		※ 平野		○			30	2	
	身体表象論	講義		※ 川野			○		30	2	
	インテリア概論	講義	◇	岡北		○			30	2	
	空間デザイン論	講義	◇	福濱			○		30	2	
	照明デザイン	講義		※ 藤原			○		30	2	
	人間工学	講義		舩山		○			30	2	
	マーケティング	講義		髙橋			○		30	2	
	デザインマネジメント	講義		※ 嘉数			○		30	2	
	地域とデザイン	講義		※ 印南		○			30	2	
	展示計画	演習		北山・島田		○			30	2	
	アートプロデュース論	講義		※ 佐藤		○			15	1	
	国際交流	演習		真世土・西川			○		30	2	
	地域デザイン演習	演習		※ 未定		○			30	2	
学科専門科目	建築概論	講義	◇	向山	◎				30	2	
	近現代建築史	講義	◇	西川	◎				30	2	
	建築材料	講義	◇	福濱	◎				30	2	
	建築一般構造	講義	◇	津田	◎				30	2	
	建築製図	演習	◇	畠	◎				30	1	
	建築表現技法Ⅰ	演習	◇	吉田	○				30	1	
	建築表現技法Ⅱ	演習	◇	畠・原田	○				30	1	
	家具デザイン	演習	◇	吉田	○				30	2	
	建築計画論Ⅰ	講義	◇	向山		◎			30	2	
	建築計画論Ⅱ	講義	◇	畠		◎			30	2	
	西洋建築史	講義	◇	岡北		◎			30	2	
	日本建築史	講義	◇	福濱		◎			30	2	
	構造力学Ⅰ	講義	◇	津田		◎			30	2	
	構造力学Ⅱ	講義	◇	津田		◎			30	2	
	建築環境工学	講義	◇	原田		◎			30	2	
	都市計画	講義	◇	穂苅		○			30	2	
	ＣＡＤ演習	演習	◇	畠・原田		○			30	1	
	建築理論	講義	◇	岡北			○		30	2	
	建築構造計画	演習	◇	津田・※桝田			◎		30	2	
	建築設備	講義	◇	原田			◎		30	2	
	建築施工	講義	◇	※ 池木			◎		30	2	
	建築法規	講義	◇	吉田			◎		15	1	
	ランドスケープデザイン	講義	◇	穂苅・※宮原			○		30	2	
	環境工学演習	演習	◇	原田			○		30	2	
	森林生態学・地盤工学	講義		穂苅			○		30	2	
	森林・木材学演習	演習		穂苅			○		30	2	
	木構造学・木構造デザイン	講義		向山			○		30	2	

授業科目の名称		授業の方法	建築士科目	担当教員（※印は非常勤講師）	開講年次および必修選択の別				開講時間数	開講単位数	卒業要件単位数
					1	2	3	4			
学科総合科目	建築設計基礎Ⅰ	演習	◇	西川・津田	◎				30	2	
	建築設計基礎Ⅱ	演習	◇	福濱・吉田	◎				30	2	
	建築設計Ⅰ	演習	◇	向山・※大賀		◎			45	3	
	建築設計Ⅱ	演習	◇	西川・※高吉		◎			45	3	
	建築設計Ⅲ	演習	◇	吉田・※岡		◎			45	3	
	建築設計Ⅳ	演習	◇	畠　・※仁科		◎			45	3	
	建築設計Ⅴ	演習	◇	福濱・※加茂			◎		45	3	
	建築設計Ⅵ	演習	◇	向山・※大賀			◎		45	3	
	建築設計スタジオⅠ	演習	◇	向山・※前田・※森下			○		45	3	
	建築設計スタジオⅡ	演習	◇	吉田・※未定・※未定				○	45	3	
建築キャリア科目	建築プロジェクト演習	演習	◇	学科全教員			○		30	1	
	海外建築研修［隔年開講］	演習		西川・岡北	○				30	1	
	学外建築研修Ⅰ	演習		畠・穂苅	○				30	1	
	学外建築研修Ⅱ	演習		福濱・穂苅		○			30	1	
	インターンシップ	演習		穂苅・原田			○		30	1	
	環境デザイン演習	演習		原田				○	30	2	
	未来型プロジェクト〈森と木〉	演習		南川・向山				○	120	4	
	建築ゼミナール	演習		学科全教員			◎		30	2	
	卒業研究	演習		学科全教員				◎	120	8	

注）「◎」印は必修科目，「○」印は選択科目
建築士科目の項に「◇」印がついた科目は，建築士試験受験資格に関わる科目を示す。
学部教育科目の卒業要件単位数は92単位，卒業要件単位数は124単位（共通教育科目32単位を含む）

3.6 科目ナンバリング

カテゴリー	授業科目の名称	科目ナンバリング	分野１（略称と英語名称）		分野２（略称と英語名称）	
			略称	英語名称	略称	英語名称
学部基礎科目	デザイン史	DGS_HDS-E0-1R-L0	DGS	General Science of Design	HDS	History of Design
	日本デザイン論	DGS_JPD-E0-1E-L0	DGS		JPD	Japanese Design
	おかやまのデザイン	DGS_OKD-E0-1E-L0	DGS		OKD	Okayama Design
	造形文化論Ⅰ	DGS_AES-E0-2E-L0	DGS		AES	Aesthetics
	造形文化論Ⅱ	DGS_IMS-E0-2E-L0	DGS		IMS	Image Studies
	色彩学	DGS_SCL-E0-1E-L0	DGS		SCL	Science of Color
	視覚心理学	DGS_PSY-E0-3E-L0	DGS		PSY	Psychology of Visual Perception
	文章表現技法	DGS_WRT-E0-3E-L0	DGS		WRT	Writing Skills
	知的財産権	DGS_IPR-E0-2E-L0	DGS		IPR	Intellectual Property Rights
	身体表象論	DGS_BDR-E0-3E-L0	DGS		BDR	Bodily Representation Theories
	インテリア概論	DGS_ITD-E0-2E-L1	DGS		ITD	Interior Desing
	空間デザイン論	DGS_SPD-E0-3E-L1	DGS		SPD	Spatial Design
	照明デザイン	DGS_LTD-E0-3E-L0	DGS		LTD	Lighting Design
	人間工学	DGS_ERG-E0-2E-L0	DGS		ERG	Ergonomics
	マーケティング	DGS_MKT-E0-3E-L0	DGS		MKT	Marketing
	デザインマネジメント	DGS_DMG-E0-3E-L0	DGS		DMG	Design Management
	地域とデザイン	DGS_DCM-E0-2E-L0	DGS		DCM	Design and Community
	展示計画	DGS_ISP-E0-2E-L0	DGS		ISP	Installation Planning
	アートプロデュース論	DGS_APP-E0-2E-L0	DGS		APP	Art Project Planning
	国際交流	DGS_IDS-E0-3E-S0	DGS		IDS	International Design Studies
	地域デザイン演習	DGS_DPC-E0-2E-S0	DGS		DPC	Design Practice in Communities
学科専門科目	建築概論	DAS_IAR-E7-1R-L1	DAS	Science of Architecure	IAR	Introduction to Architecture
	近現代建築史	DAS_HMA-E7-1R-L1	DAS		HMA	History of Modern Architecture
	建築材料	DAS_MAT-E7-1R-L1	DAS		MAT	Building Materials
	建築一般構造	DAS_STR-E7-1R-L1	DAS		STR	Building Structure
	建築製図	DAS_DWG-E7-1R-S1	DAS		DWG	Architectural Drawing
	建築表現技法Ⅰ	DAS_PR1-E7-1E-S1	DAS		PR1	Architectural Presentation Skills Ⅰ
	建築表現技法Ⅱ	DAS_PR2-E7-1E-S1	DAS		PR2	Architectural Presentation Skills Ⅱ
	家具デザイン	DAS_FUR-E7-1E-S1	DAS		FUR	Furniture Design
	建築計画論Ⅰ	DAS_AP1-E7-2R-L1	DAS		AP1	Architectural Planning 1
	建築計画論Ⅱ	DAS_AP2-E7-2R-L1	DAS		AP2	Architectural Planning Ⅱ
	西洋建築史	DAS_HWA-E7-2R-L1	DAS		HWA	History of Western Architecture
	日本建築史	DAS_HJA-E7-2R-L1	DAS		HJA	History of Japanese Architecture
	構造力学Ⅰ	DAS_SM1-E7-2R-L1	DAS		SM1	Structural MechanicsⅠ
	構造力学Ⅱ	DAS_SM2-E7-2R-L1	DAS		SM2	Structural MechanicsⅡ
	建築環境工学	DAS_ENV-E7-2R-L1	DAS		ENV	Environmental Engineering in Architecture
	都市計画	DAS_URB-E7-2E-L1	DAS		URB	Urban Planning
	ＣＡＤ演習	DAS_CAD-E7-2E-S1	DAS		CAD	CAD
	建築理論	DAS_TAR-E7-3E-L1	DAS		TAR	Theory of Architecture
	建築構造計画	DAS_STD-E7-3R-S1	DAS		STD	Structural Design
	建築設備	DAS_EQP-E7-3R-L1	DAS		EQP	Building Equipment
	建築施工	DAS_CST-E7-3R-L1	DAS		CST	Construction Technology
	建築法規	DAS_COD-E7-3R-L1	DAS		COD	Building Code
	ランドスケープデザイン	DAS_LSD-E7-3E-L1	DAS		LSD	Landscape Design
	環境工学演習	DAS_EEP-E7-3E-S1	DAS		EEP	Environmental Engineering Practice
	森林生態学・地盤工学	DAS_FGE-E7-3E-L0	DAS		FGE	Forest Ecology and Geotechnical Engineering
	森林・木材学演習	DAS_WMS-E7-3E-S0	DAS		WMS	Wooden Materials and Science
	木構造学・木構造デザイン	DAS_SDW-E7-3E-L0	DAS		SDW	Structure and Design in Wooden Buildings
学科総合科目	建築設計基礎Ⅰ	DAD_AB1-E7-1R-S1	DAD	Architectural Design	AB1	Architectural Design Basic Ⅰ
	建築設計基礎Ⅱ	DAD_AB2-E7-1R-S1	DAD		AB2	Architectural Design Basic Ⅱ
	建築設計Ⅰ	DAD_AD1-E7-2R-S1	DAD		AD1	Architectural Design Ⅰ
	建築設計Ⅱ	DAD_AD2-E7-2R-S1	DAD		AD2	Architectural Design Ⅱ
	建築設計Ⅲ	DAD_AD3-E7-2R-S1	DAD		AD3	Architectural Design Ⅲ
	建築設計Ⅳ	DAD_AD4-E7-2R-S1	DAD		AD4	Architectural Design Ⅳ
	建築設計Ⅴ	DAD_AD5-E7-3R-S1	DAD		AD5	Architectural Design Ⅴ
	建築設計Ⅵ	DAD_AD6-E7-3R-S1	DAD		AD6	Architectural Design Ⅵ
	建築設計スタジオⅠ	DAD_AS1-E7-3E-S1	DAD		AS1	Architectural Design Studio Ⅰ
	建築設計スタジオⅡ	DAD_AS2-E7-4E-S1	DAD		AS2	Architectural Design Studio Ⅱ
建築キャリア科目	建築プロジェクト演習	DAC_PBP-E7-3E-S1	DAC	Career Development in Architecture	PBP	Project-based Practice in Architecture
	海外建築研修	DAC_ABR-E7-0E-S1	DAC		ABR	Study Architecture Abroad Program
	学外建築研修Ⅰ	DAC_EX1-E7-1E-S1	DAC		EX1	Architecture Explorer Ⅰ
	学外建築研修Ⅱ	DAC_EX2-E7-2E-S1	DAC		EX2	Architecture Explorer Ⅱ
	インターンシップ	DAC_INT-E7-3E-S1	DAC		INT	Internship
	環境デザイン演習	DAC_EVD-E7-4E-S0	DAC		EVD	Exercises in Environmental Design
	未来型プロジェクト〈森と木〉	DAC_FOP-E7-4E-S0	DAC		FOP	Future-oriented Project〈Forest and Wood〉
	建築ゼミナール	DAC_SEM-E7-3R-S0	DAC		SEM	Seminar on Architecture
	卒業研究	DAC_GRP-E7-4R-S0	DAC		GRP	Graduation Project

表1 建築士試験受験資格に必要な指定科目単位

(1)下表に指定された必要単位数を取得することにより，大学卒業後に建築士受験資格が得られる。

分類		授業科目名	単位	一級建築士	二級・木造建築士
①	建築設計製図	建築設計基礎Ⅰ	2	7単位以上	5単位以上
		建築設計基礎Ⅱ	2		
		建築設計Ⅰ	3		
		建築設計Ⅱ	3		
		建築設計Ⅲ	3		
		建築設計Ⅳ	3		
		建築設計Ⅴ	3		
		建築設計Ⅵ	3		
		建築設計スタジオⅠ	3		
		建築設計スタジオⅡ	3		
②	建築計画	建築計画論Ⅰ	2	7単位以上	7単位以上
		建築計画論Ⅱ	2		
		近現代建築史	2		
		西洋建築史	2		
		日本建築史	2		
		空間デザイン論	2		
		建築理論	2		
③	建築環境工学	建築環境工学	2	2単位以上	
④	建築設備	建築設備	2	2単位以上	
⑤	構造力学	構造力学Ⅰ	2	4単位以上	6単位以上
		構造力学Ⅱ	2		
⑥	建築一般構造	建築一般構造	2	3単位以上	
		建築構造計画	2		
⑦	建築材料	建築材料	2	2単位以上	
⑧	建築生産	建築施工	2	2単位以上	1単位以上
⑨	建築法規	建築法規	1	1単位以上	1単位以上
⑩	上記以外	建築概論	2	適宜	適宜
		建築製図	1		
		建築表現技法Ⅰ	1		
		建築表現技法Ⅱ	1		
		家具デザイン	2		
		インテリア概論	2		
		ＣＡＤ演習	1		
		都市計画	2		
		ランドスケープデザイン	2		
		環境工学演習	2		
		建築プロジェクト演習	1		
受験資格に必要な合計単位数				40単位以上	20単位以上

(2)資格登録には，取得合計単位に応じて指定の実務経験年数が必要となる。
（なお，本学大学院において指定科目を履修することにより，建築実務経験1年が認められる。）

	一級建築士			二級・木造建築士		
取得合計単位数	60単位以上	50単位以上	40単位以上	40単位以上	30単位以上	20単位以上
資格登録に必要な建築実務の経験年数	2年	3年	4年	0年	1年	2年

3.7 カリキュラムマップ

授業科目の名称		学位授与の方針に対する関与の程度 ◎:各方針と関係が深い科目 ○:各方針と関係する科目							
		A	B	C-1	C-2	D	E	F	G
学部基礎科目	デザイン史			◎					
	日本デザイン論			○					
	おかやまのデザイン	○							
	造形文化論Ⅰ			○					
	造形文化論Ⅱ			○					
	色彩学			○					
	視覚心理学			○					
	文章表現技法			○					
	知的財産権		○	○					
	身体表象論			○					
	インテリア概論			◎					
	空間デザイン論			◎					
	照明デザイン			○					
	人間工学			○					
	マーケティング			○					
	デザインマネジメント			○					
	地域とデザイン			○					
	展示計画			○					
	アートプロデュース論			○					
	国際交流			○					
	地域デザイン演習			○					
学科専門科目	建築概論				◎				
	近現代建築史				◎				
	建築材料				◎				
	建築一般構造				◎				
	建築製図				◎				
	建築表現技法Ⅰ				◎				
	建築表現技法Ⅱ				◎				
	家具デザイン				◎				
	建築計画論Ⅰ				◎				
	建築計画論Ⅱ				◎				
	西洋建築史				◎				
	日本建築史				◎				
	構造力学Ⅰ				◎				
	構造力学Ⅱ				◎				
	建築環境工学				◎				
	都市計画				◎				
	CAD演習				◎				
	建築理論				◎				
	建築構造計画				◎				
	建築設備				◎				
	建築施工				◎				
	建築法規		○		◎				
	ランドスケープデザイン				◎				
	環境工学演習				◎				
	森林生態学・地盤工学				○				
	森林・木材学演習				○				
	木構造学・木構造デザイン				○				
学科総合科目	建築設計基礎Ⅰ					◎			
	建築設計基礎Ⅱ					◎			
	建築設計Ⅰ					◎			
	建築設計Ⅱ					◎			
	建築設計Ⅲ					◎			
	建築設計Ⅳ					◎			
	建築設計Ⅴ					◎			
	建築設計Ⅵ					◎			
	建築設計スタジオⅠ					◎			
	建築設計スタジオⅡ					◎			
建築キャリア科目	建築プロジェクト演習						◎		○
	海外建築研修［隔年開講］						○	○	
	学外建築研修Ⅰ				○		○		
	学外建築研修Ⅱ				○		○	○	
	インターンシップ						○		
	環境デザイン演習								○
	未来型プロジェクト〈森と木〉								○
	建築ゼミナール						○		○
	卒業研究						◎	○	

建築学科　学位授与の方針

建築学科では、建築設計を中心にインテリアから地域計画に至るまで、建築に関わる広範な知識と高度な技能を修得し、建築設計分野で国際・地域社会の持続的発展に寄与する、建築家や建築分野の専門家の育成を目指しています。

A　**【人間・社会・自然の理解】**

人文科学、社会科学、自然科学、健康科学の知識を通して、人間・社会・自然を理解する力を身に付けている。

B　**【倫理観】**

建築家や建築分野の専門家として求められる、社会的規範や環境倫理などについての倫理観と豊かな人間性を身に付けている。

C-1 **【専門的知識・技能1】**

デザインに関する基礎的な知識を身に付けており、それらを建築分野に活かせる力を身に付けている。

C-2 **【専門的知識・技能2】**

建築的表現技能や建築史、建築計画、建築構造や建築環境に関する知識を修得している。くわえて、建築空間の理解力を身に付けている。

D　**【論理的思考力・判断力・実践力】**

建築分野の専門的知識・技能を用いて、計画に必要な条件を導き出し、建築設計をすることができる、論理的思考力、判断力、実践力を身に付けている。

E　**【課題発見・解決力】【主体性】**

建築分野における課題を自ら発見し、専門的な知識技能を活かした、建築の設計によって解決する力とともに、新しい知識や価値観を継続的に学習する意欲を身に付けている。

F　**【コミュニケーション力】**

異なる気候や歴史の建築やそれに関するデザインの学修と、外国人や社会人との交流を通じ、国際的視点とコミュニケーション力を身に付けている。

G　**【多様な人々と協働する力】**

地域社会や国際社会において豊かな人間性をもって多様な立場や職種の人々と協調・協働することにより、建築分野の計画を遂行できる力を身に付けている。

3.8 カリキュラムツリー

DP	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
修学基礎	大学で学ぶ フレッシュマンセミナー							
A	人文・社会科学要論	芸術学						
	「人文・社会科学」カテゴリー科目群							
	自然科学要論							
	「自然科学」カテゴリー科目群							
	「健康科学」カテゴリー科目群							
	「複合PBL科目」カテゴリー科目群							
		おかやまのデザイン						
B			知的財産権			建築法規		
C-1	デザイン史 色彩学	日本デザイン論	造形文化論I 知的財産権 インテリア概論 人間工学 展示計画 アートプロデュース論	造形文化論II 地域とデザイン	視覚心理学 身体表象論 空間デザイン論 照明デザイン デザインマネジメント	文章表現技法 マーケティング		
			地域デザイン演習		国際交流			
C-2	建築表現技法Ⅰ 建築表現技法Ⅱ 建築概論 建築材料	建築製図 家具デザイン 近現代建築史 建築一般構造	CAD演習 建築計画論Ⅰ 西洋建築史 構造力学Ⅰ	建築計画論Ⅱ 日本建築史 構造力学Ⅱ 建築環境工学 都市計画	建築構造計画 建築設備 ランドスケープデザイン	建築理論 建築施工 環境工学演習 建築法規		
	学外建築研修Ⅰ		学外建築研修Ⅱ					
					森林生態学・地盤工学 森林・木材学演習 木構造学・木構造デザイン			
D		建築設計基礎Ⅰ 建築設計基礎Ⅱ	建築設計Ⅰ 建築設計Ⅱ	建築設計Ⅲ 建築設計Ⅳ	建築設計Ⅴ 建築設計Ⅵ	建築設計スタジオⅠ	建築設計スタジオⅡ	
E	学外建築研修Ⅰ		学外建築研修Ⅱ		インターンシップ			
	海外建築研修							
					建築プロジェクト演習			
						建築ゼミナール	卒業研究	
F	ELP1 ELP2	ELP3 ELP4	ELP5	ELP6				
	「語学国際」カテゴリー科目群							
	「複合PBL科目」カテゴリー科目群							
	海外建築研修							
							卒業研究	
G	社会連携要論	地域資源学			建築プロジェクト演習			
							環境デザイン演習	
						建築ゼミナール		
							未来型プロジェクト〈森と木〉	
	「社会連携」カテゴリー科目群							

注）共通教育科目は，建築学科の必修科目のみ科目名を記載している。

3.9 履修モデル

①　建築家をめざす場合

建築家が修得するべき建築学は、建築計画に関わる分野（建築計画論／建築史等）と工学的要素を含む分野（建築材料／構造力学／建築環境工学等）から構成されます。建築士受験科目として指定された科目は、建築学の基礎分野を網羅していますので、これらを履修して幅広い知識と技能を身につけます。建築デザインを実践する科目が建築設計であり、小規模な建築から公共建築、複合用途建築へとステップアップしていきます。幅広い知識と感性を融合させて建築設計能力を高めていくよう意識して取り組みましょう。

共通教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ＥＬＰ５	1	全カテゴリーから	3		
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ＥＬＰ６	1				
◎芸術学	2	人文・社会科学カテゴリーから	2				
◎人文・社会科学要論	2	自然科学カテゴリーから	2				
◎自然科学要論	2	語学国際カテゴリーから	2				
◎社会連携要論	1	複合ＰＢＬ科目から	1				
◎地域資源学	1						
◎ＥＬＰ１	1						
◎ＥＬＰ２	1						
◎ＥＬＰ３	1						
◎ＥＬＰ４	1						
人文・社会科学カテゴリーから	2						
自然科学カテゴリーから	2						
健康科学カテゴリーから	2						
小計	２０	小計	9	小計	3	小計	0

備考
・人文・社会科学カテゴリーから選択科目４単位を修得すること。
・自然科学カテゴリーから選択科目４単位を修得すること。
・健康科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・語学国際カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・複合ＰＢＬ科目から選択科目１単位を修得すること。
・全カテゴリーから選択科目３単位を修得すること。

学部教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎デザイン史	2	◎建築計画論Ⅰ	2	空間デザイン論	2	建築設計スタジオⅡ	3
◎建築製図	1	◎建築計画論Ⅱ	2	建築理論	2	◎卒業研究	8
建築表現技法Ⅰ	1	◎西洋建築史	2	◎建築設備	2		
建築表現技法Ⅱ	1	◎日本建築史	2	◎建築構造計画	2		
◎建築概論	2	◎構造力学Ⅰ	2	◎建築施工	2		
◎近現代建築史	2	◎構造力学Ⅱ	2	◎建築法規	1		
家具デザイン	2	◎建築環境工学	2	環境工学演習	2		
◎建築材料	2	インテリア概論	2	ランドスケープデザイン	2		
◎建築一般構造	2	都市計画	2	◎建築設計Ⅴ	3		
◎建築設計基礎Ⅰ	2	ＣＡＤ演習	1	◎建築設計Ⅵ	3		
◎建築設計基礎Ⅱ	2	◎建築設計Ⅰ	3	建築設計スタジオⅠ	3		
学外建築研修Ⅰ	1	◎建築設計Ⅱ	3	建築プロジェクト演習	1		
		◎建築設計Ⅲ	3	海外建築研修	1		
		◎建築設計Ⅳ	3	インターンシップ	1		
		学外建築研修Ⅱ	1	◎建築ゼミナール	2		
小計	２０	小計	３２	小計	２９	小計	１１

履修上の注意
・３年次修了までに、１００単位以上を修得済みであること。

② 地域計画の企画職をめざす場合

都市や地域の基盤整備や開発は行政やディベロッパーが行います。また、地域課題を発見し、魅力あるまちづくりに取り組むプランナーという仕事もあります。建築学全般の基本科目を修得したうえで、建築設計においては都市・地域と建築の関係性を特に意識して取り組みましょう。都市環境に関する科目（地域デザイン演習／地域とデザイン／都市計画等）、企画系科目（マーケティング／アートプロデュース論／デザインマネジメント等）、共通教育科目における社会連携カテゴリー科目を重点的に修得すると良いでしょう。

共通教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ＥＬＰ５	1	人文・社会科学カテゴリーから	2		
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ＥＬＰ６	1	自然科学カテゴリーから	2		
◎芸術学	2	複合ＰＢＬ科目から	1	語学国際カテゴリーから	2		
◎人文・社会科学要論	2			全カテゴリーから	3		
◎自然科学要論	2						
◎社会連携要論	1						
◎地域資源学	1						
◎ＥＬＰ１	1						
◎ＥＬＰ２	1						
◎ＥＬＰ３	1						
◎ＥＬＰ４	1						
人文・社会科学カテゴリーから	2						
自然科学カテゴリーから	2						
健康科学カテゴリーから	2						
小計	２０	小計	3	小計	9	小計	0

備考
・人文・社会科学カテゴリーから選択科目４単位を修得すること。
・自然科学カテゴリーから選択科目４単位を修得すること。
・健康科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・語学国際カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・複合ＰＢＬ科目から選択科目１単位を修得すること。
・全カテゴリーから選択科目３単位を修得すること。

学部教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎デザイン史	2	◎建築計画論Ⅰ	2	◎建築設備	2	◎卒業研究	8
日本デザイン論	2	◎建築計画論Ⅱ	2	◎建築構造計画	2		
◎建築製図	1	◎西洋建築史	2	◎建築施工	2		
建築表現技法Ⅰ	1	◎日本建築史	2	◎建築法規	1		
建築表現技法Ⅱ	1	◎構造力学Ⅰ	2	ランドスケープデザイン	2		
◎建築概論	2	◎構造力学Ⅱ	2	◎建築設計Ⅴ	3		
◎近現代建築史	2	◎建築環境工学	2	◎建築設計Ⅵ	3		
◎建築材料	2	都市計画	2	建築プロジェクト演習	1		
◎建築一般構造	2	ＣＡＤ演習	1	海外建築研修	1		
◎建築設計基礎Ⅰ	2	◎建築設計Ⅰ	3	インターンシップ	1		
◎建築設計基礎Ⅱ	2	◎建築設計Ⅱ	3	◎建築ゼミナール	2		
学外建築研修Ⅰ	1	◎建築設計Ⅲ	3	マーケティング	2		
		◎建築設計Ⅳ	3	デザインマネジメント	2		
		学外建築研修Ⅱ	1	国際交流	2		
		造形文化論Ⅰ	2				
		造形文化論Ⅱ	2				
		地域とデザイン	2				
		地域デザイン演習	2				
小計	２０	小計	３８	小計	２６	小計	8

履修上の注意
・３年次修了までに、１００単位以上を修得済みであること。

③ 地域創生推進士・吉備の杜クリエイターをめざす場合

１～２年次に副専攻「岡山創生学」に関わる授業科目を履修し、地域の課題とその解決法に取り組むことで、地域社会に貢献できる力を養います。３～４年次には「吉備の杜」創造戦略プロジェクトを履修し、木造建築に関する知識と技術をバランスよく統合する能力（設計力）、木・テキスタイル・セラミックなどの自然素材の力を活かして心地よい住環境を生み出す能力（デザイン力）を持つ技術者を目指すモデルです。

共通教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ＥＬＰ５	1	地方自治論Ｑ	1		
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ＥＬＰ６	1	人文・社会科学カテゴリーから	2		
◎芸術学	2	地域創生実践論	1	自然科学カテゴリーから	2		
◎人文・社会科学要論	2	人文・社会科学カテゴリーから	2	健康科学カテゴリーから	2		
◎自然科学要論	2	自然科学カテゴリーから	2	語学国際カテゴリーから	2		
◎社会連携要論	1						
◎地域資源学	1						
地域創生演習	2						
◎ＥＬＰ１	1						
◎ＥＬＰ２	1						
◎ＥＬＰ３	1						
◎ＥＬＰ４	1						
複合ＰＢＬ科目から	1						
小計	１７	小計	7	小計	9	小計	0

備考
・人文・社会科学カテゴリーから選択科目４単位を修得すること。
・自然科学カテゴリーから選択科目４単位を修得すること。
・健康科学カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・語学国際カテゴリーから選択科目２単位を修得すること。
・複合ＰＢＬ科目から選択科目１単位を修得すること。

学部教育科目

１年次	単位	２年次	単位	３年次	単位	４年次	単位
◎デザイン史	2	◎建築計画論Ⅰ	2	◎建築設備	2	◎卒業研究	8
おかやまのデザイン	2	◎建築計画論Ⅱ	2	◎建築構造計画	2	環境デザイン演習	2
◎建築製図	1	◎西洋建築史	2	◎建築施工	2	未来型プロジェクト	4
建築表現技法Ⅰ	1	◎日本建築史	2	◎建築法規	1	＜森と木＞	
建築表現技法Ⅱ	1	◎構造力学Ⅰ	2	◎建築設計Ⅴ	3		
◎建築概論	2	◎構造力学Ⅱ	2	◎建築設計Ⅵ	3		
◎近現代建築史	2	◎建築環境工学	2	建築設計スタジオⅠ	3		
家具デザイン	2	◎建築設計Ⅰ	3	◎建築ゼミナール	2		
◎建築材料	2	◎建築設計Ⅱ	3	森林生態学・地盤工学	2		
◎建築一般構造	2	◎建築設計Ⅲ	3	森林・木材学演習	2		
◎建築設計基礎Ⅰ	2	◎建築設計Ⅳ	3	木構造学・木構造デザイン	2		
◎建築設計基礎Ⅱ	2	地域とデザイン	2	国際交流	2		
		地域デザイン演習	2				
		アートプロデュース論	1				
小計	２１	小計	３１	小計	２６	小計	１４

履修上の注意
・３年次修了までに、１００単位以上を修得済みであること。